

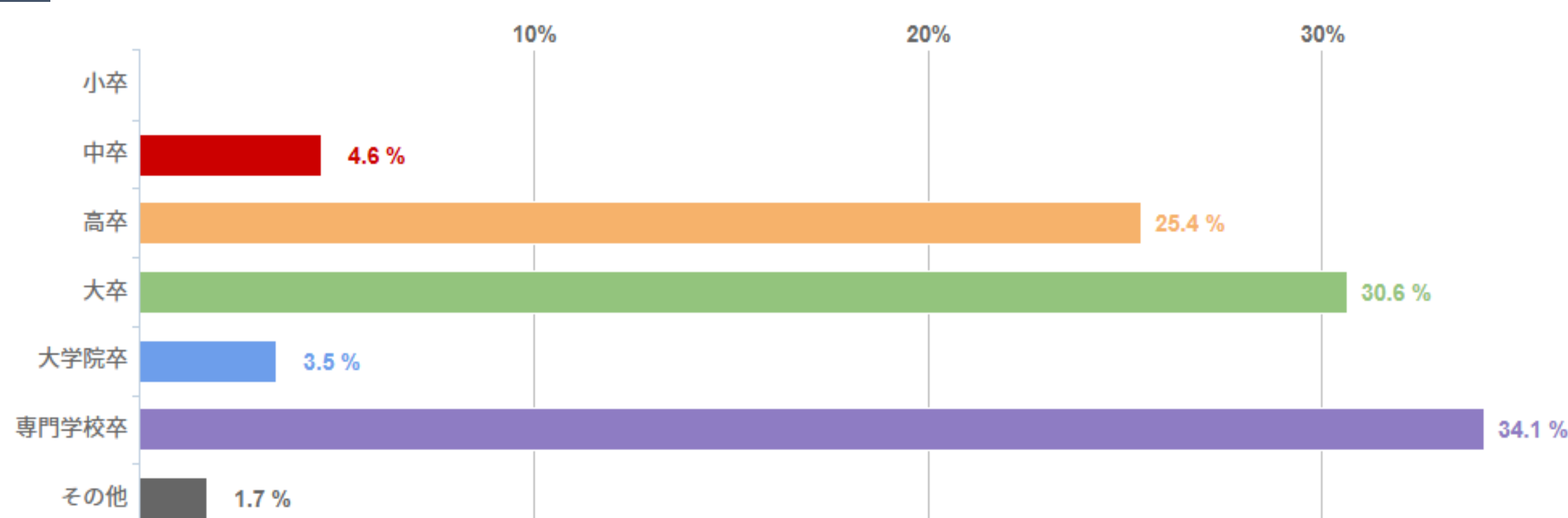
学歴・経歴に関する調査

【実施期間】

2024年11月

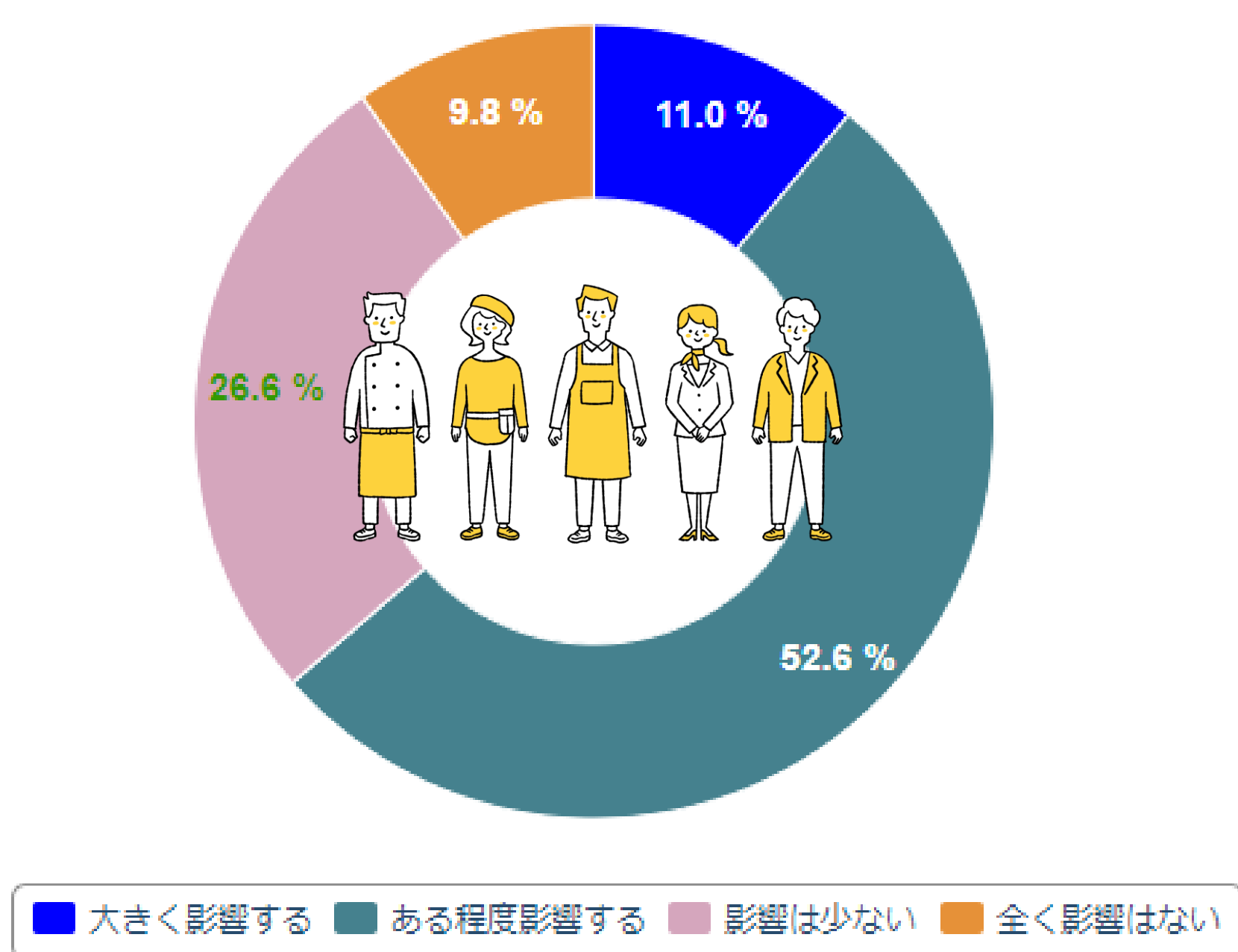
最終学歴

—あなたの最終学歴を教えてください。



学歴と仕事の成功度

—今の日本で、学歴は仕事の成功にどの程度影響すると思いますか？

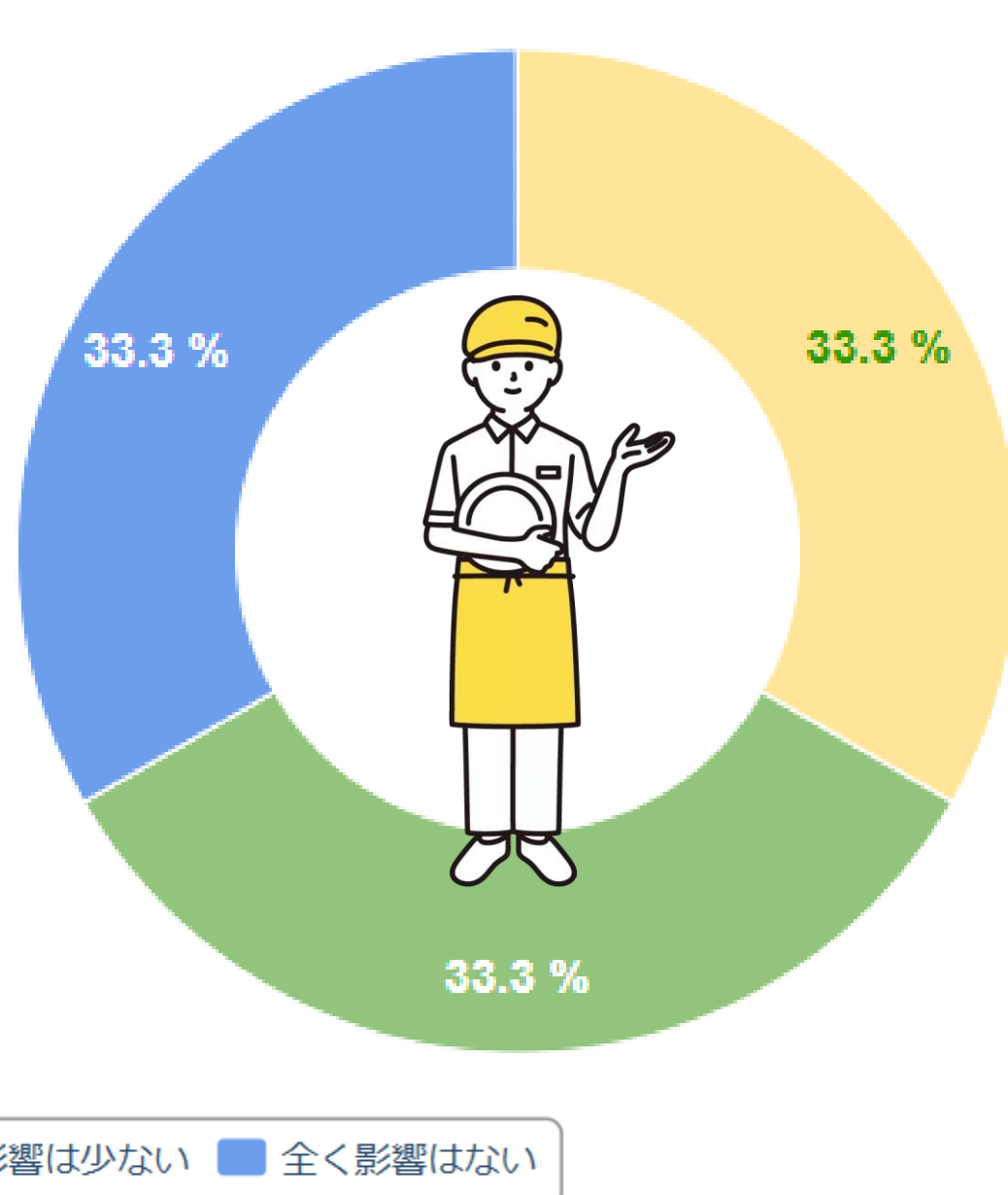
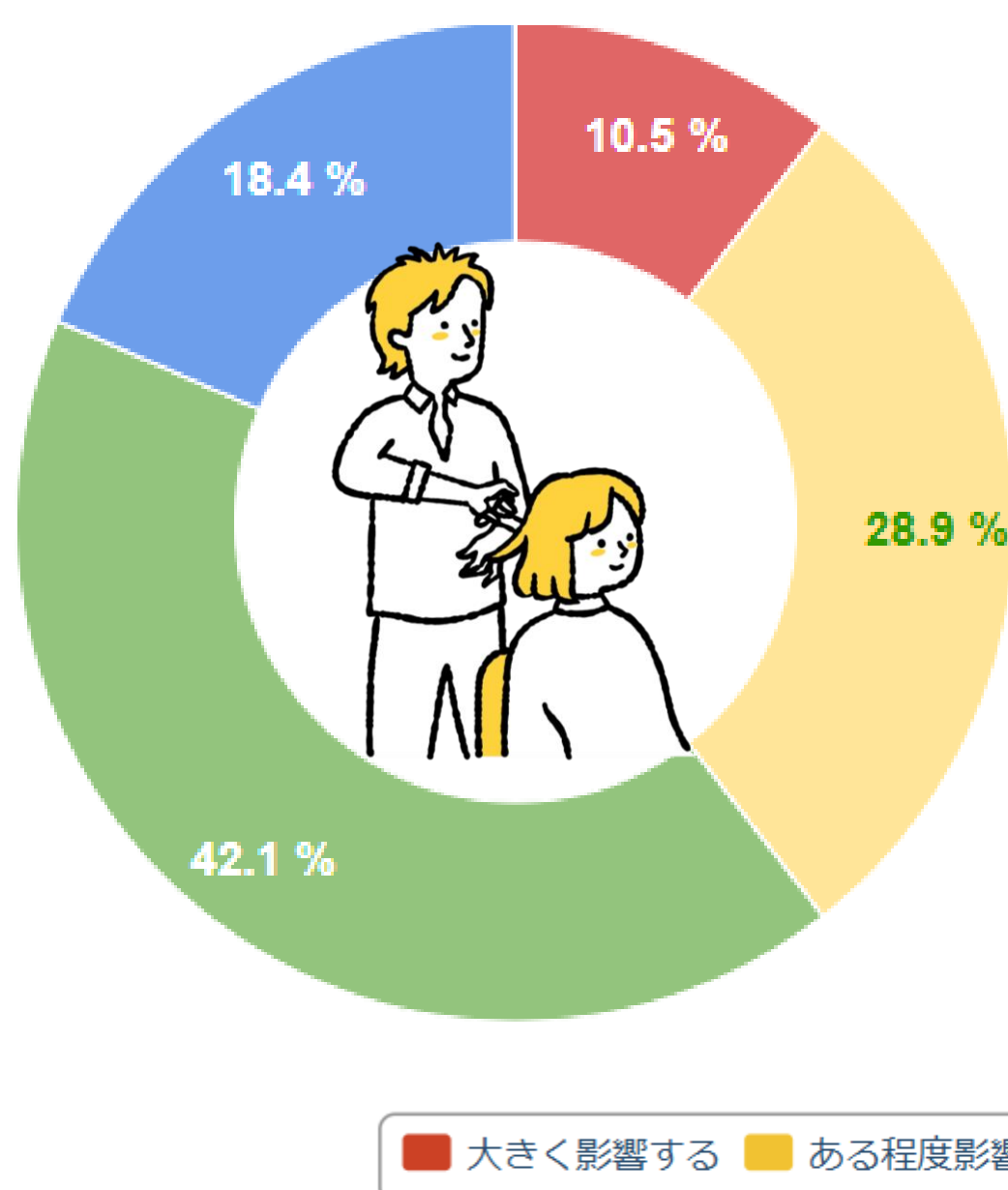


学歴と仕事の成功

—あなたの業界において、学歴は仕事の成功にどの程度影響すると思いますか？

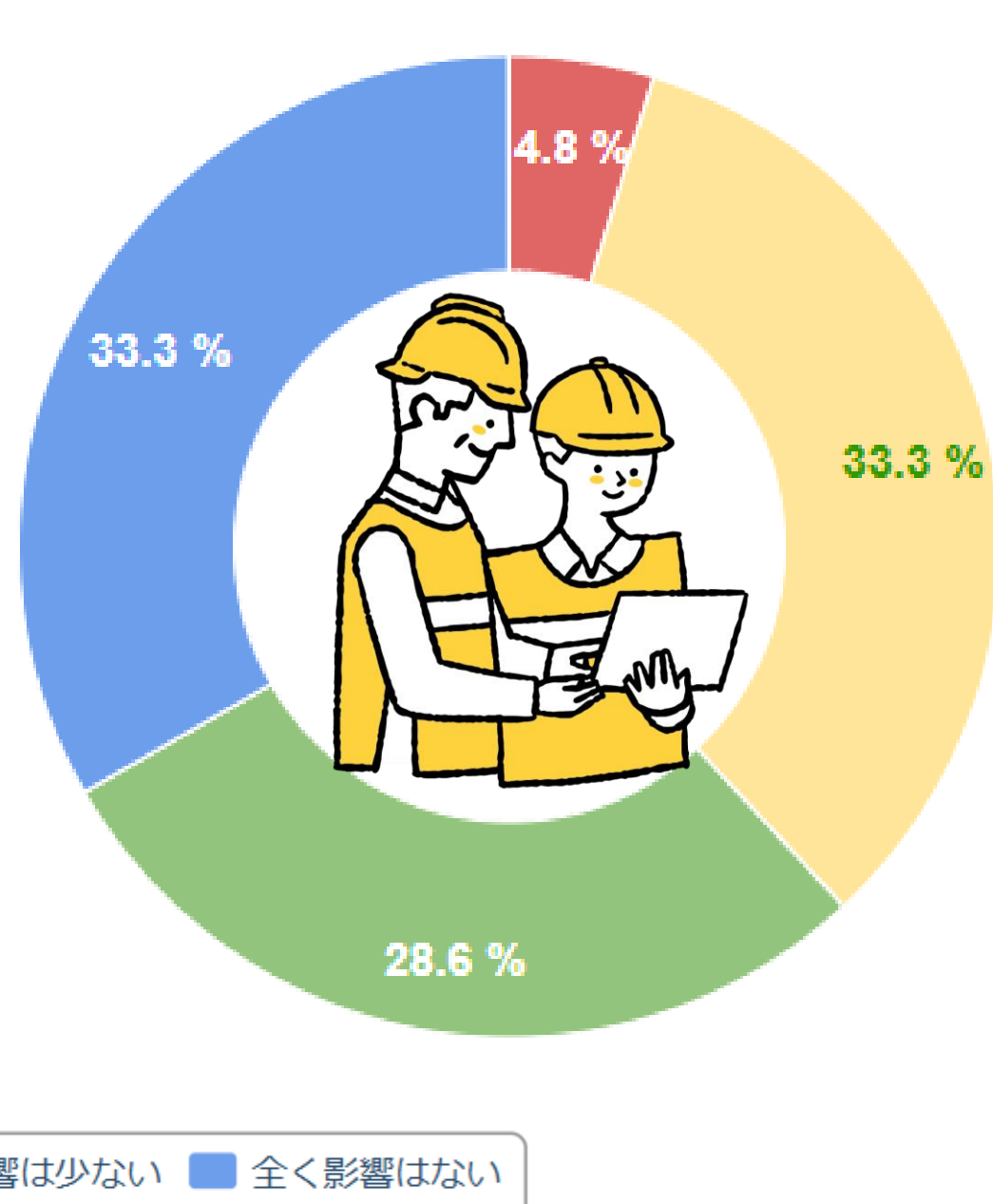
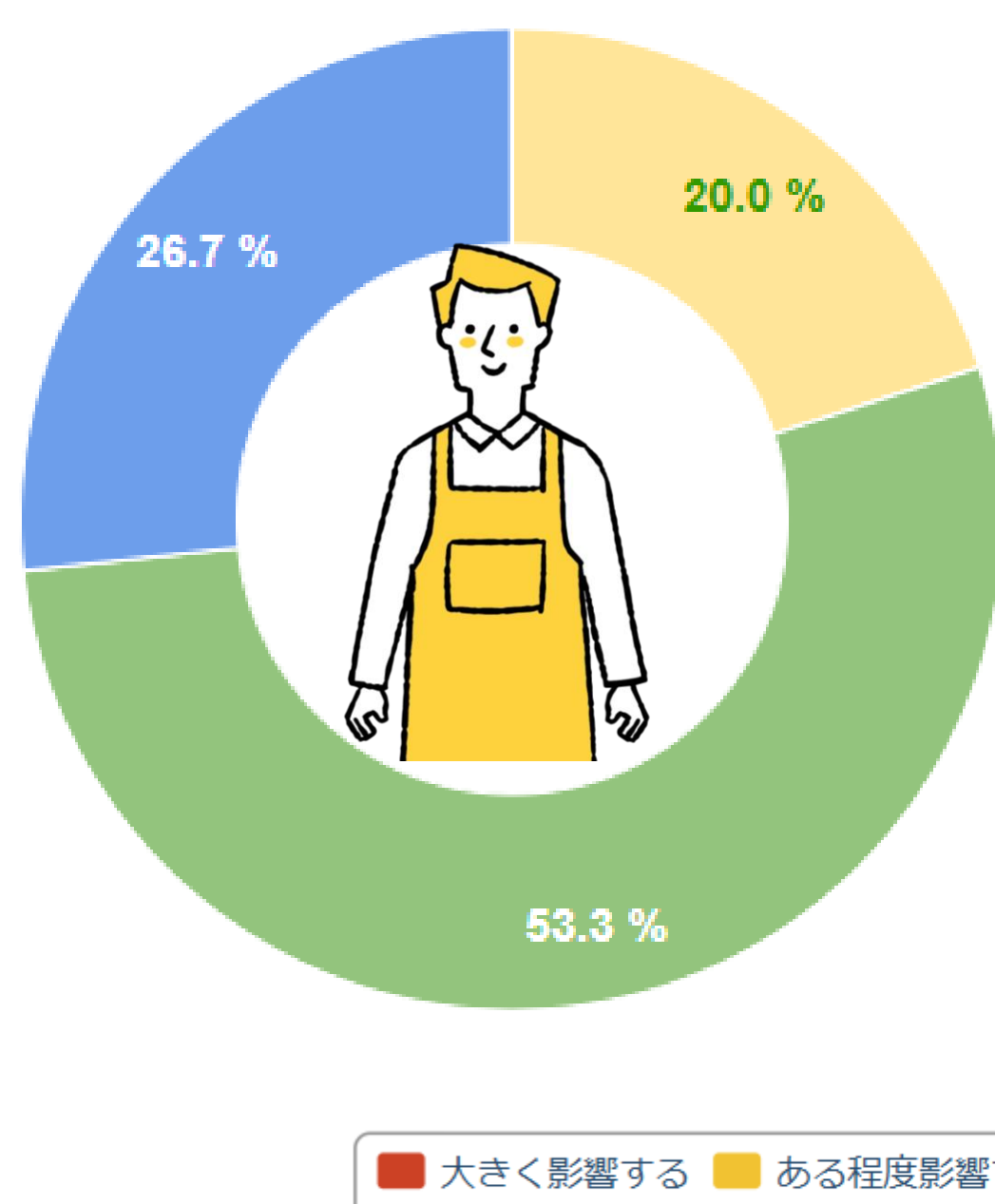
▼ 美容業

▼ 飲食業



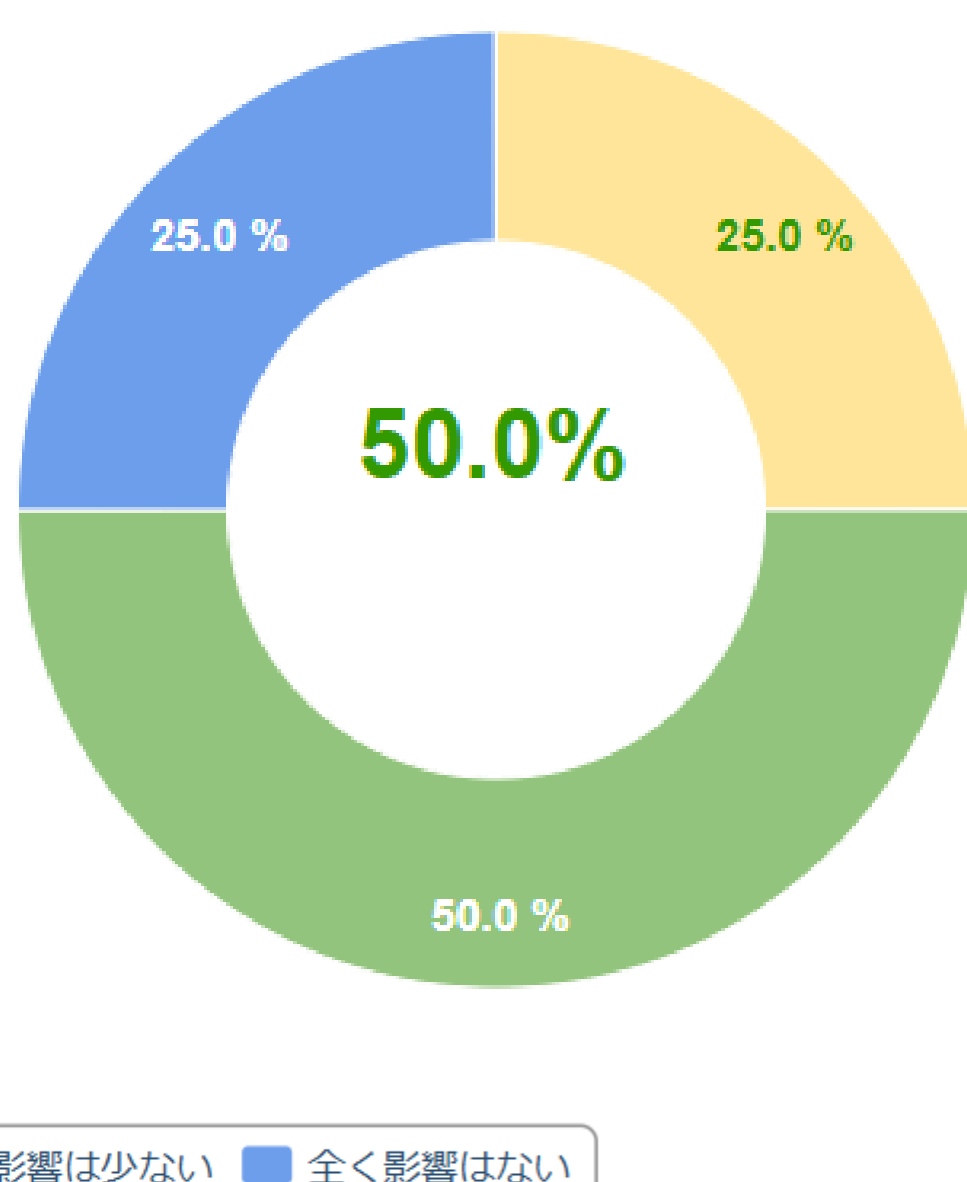
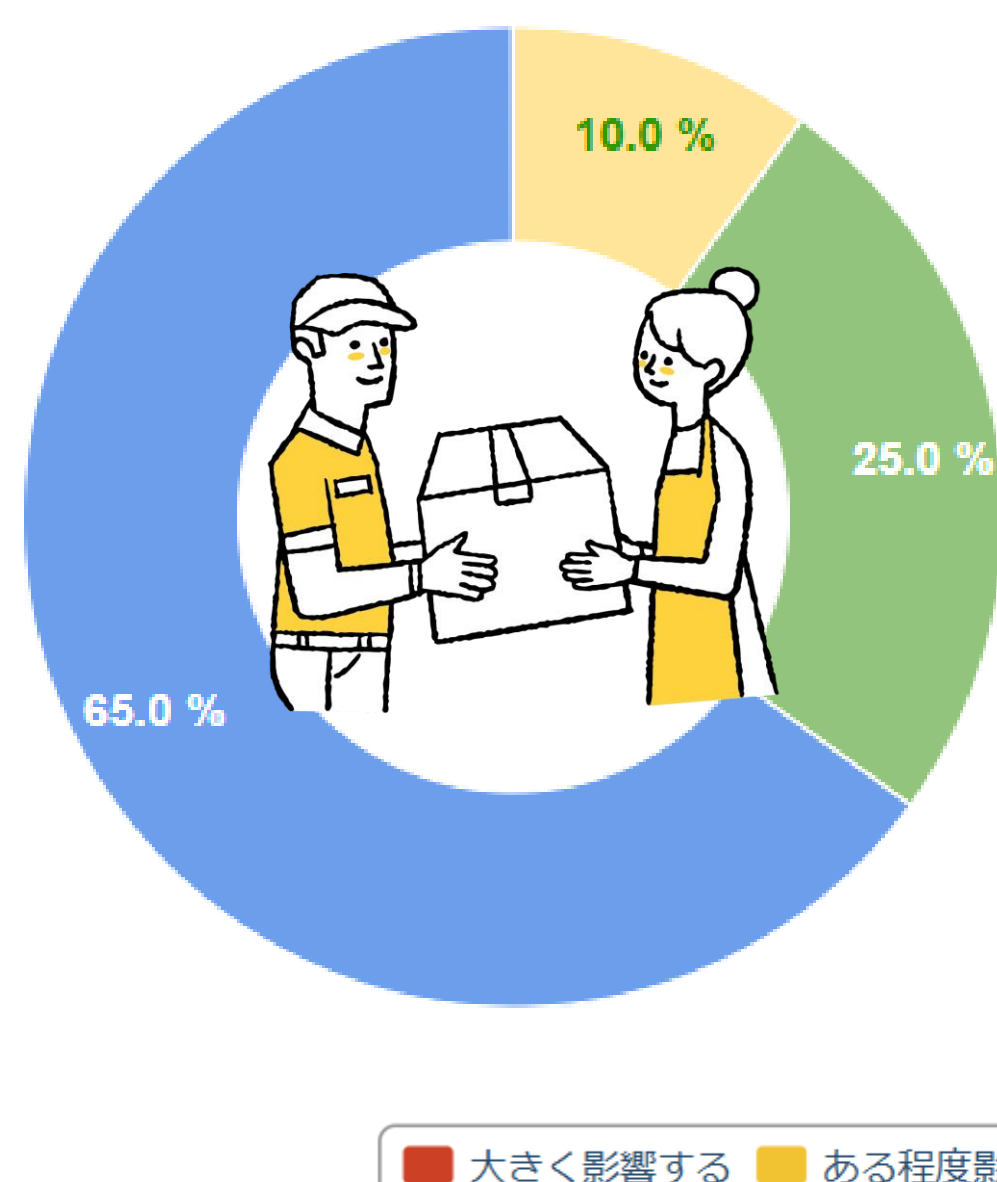
▼ 小売業

▼ 建設業

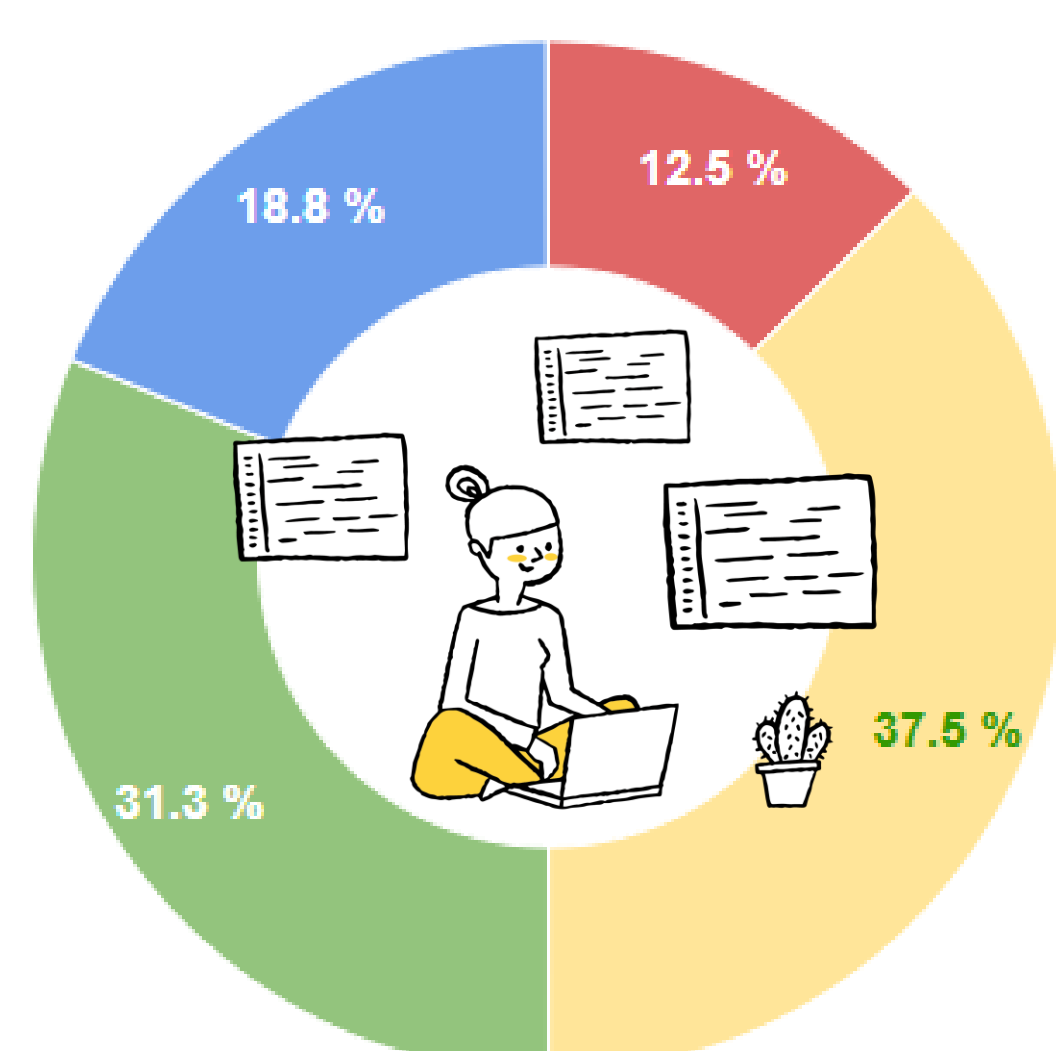


▼ 運送業

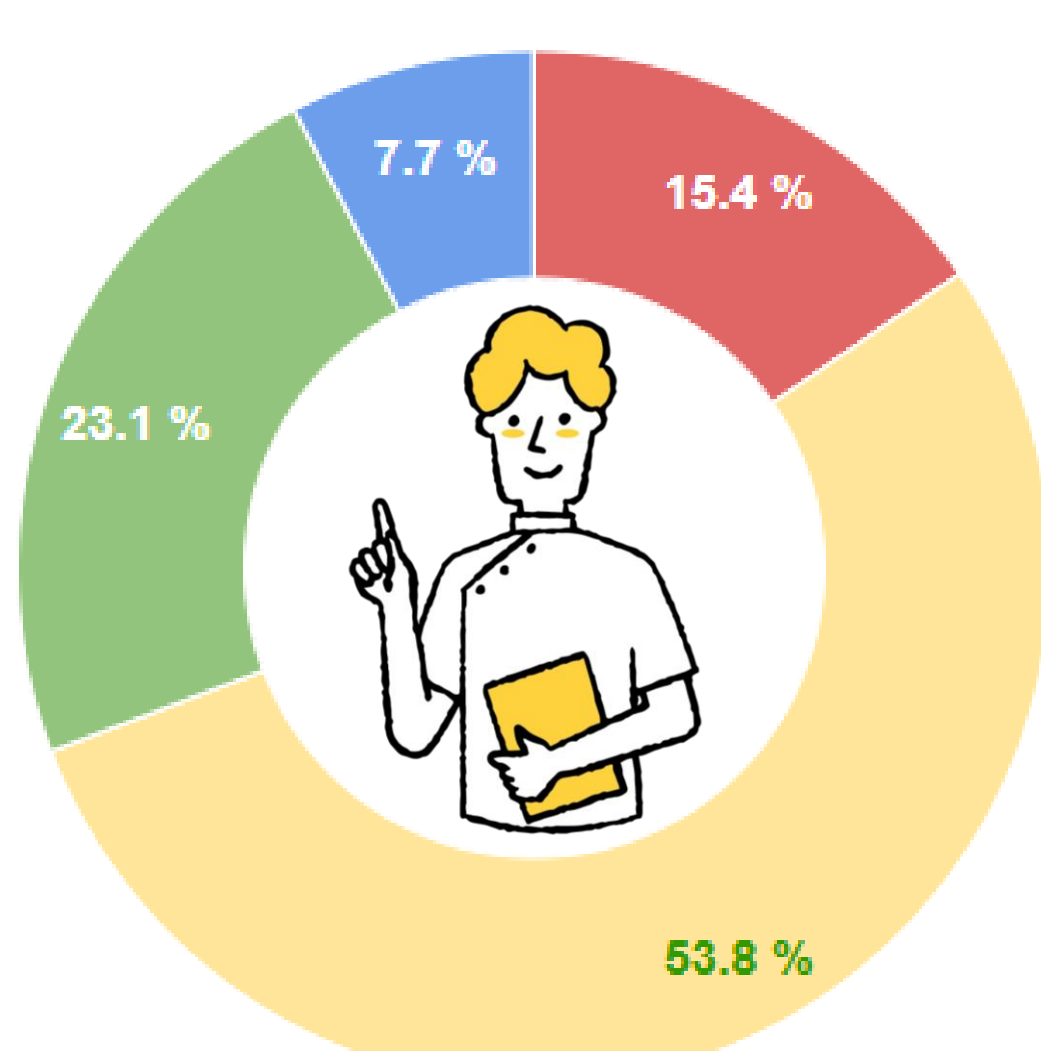
▼ 不動産業



▼ WEBサービス業



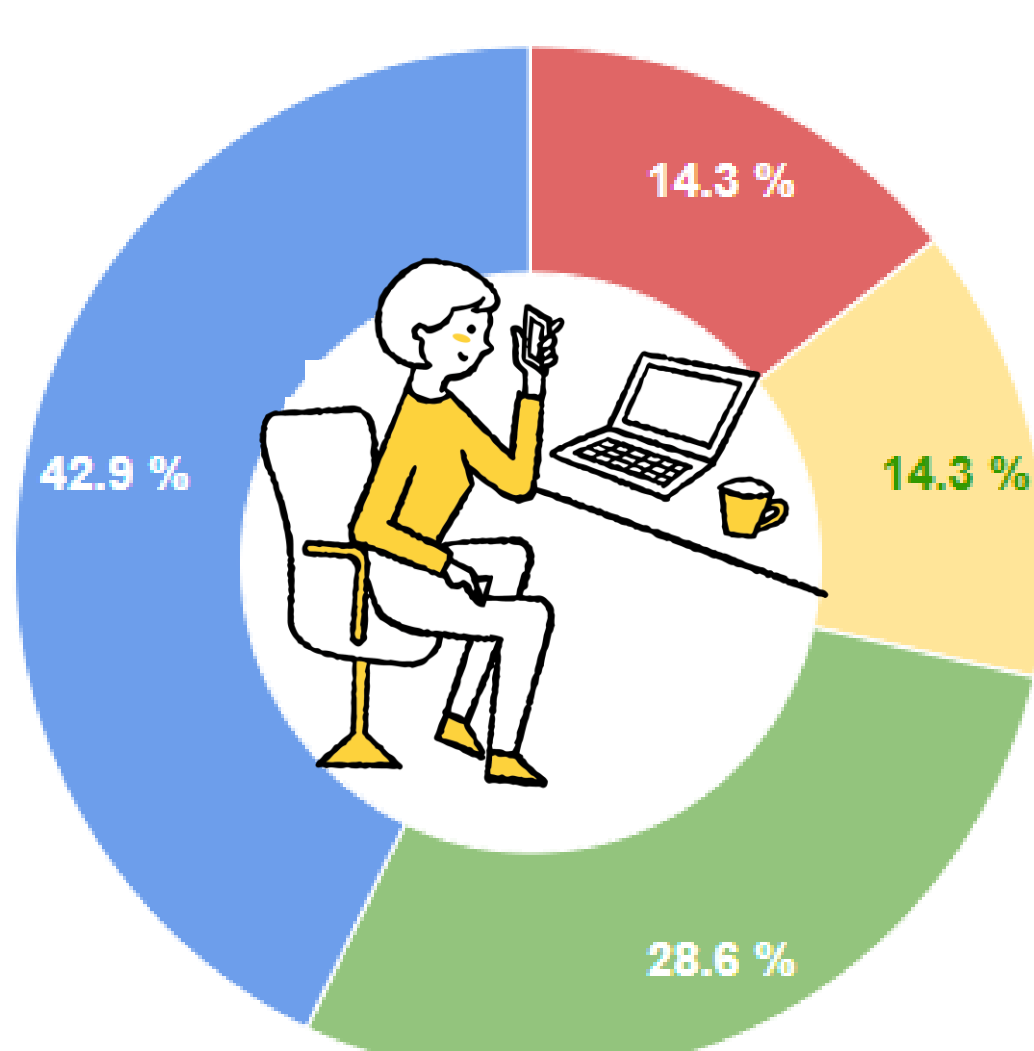
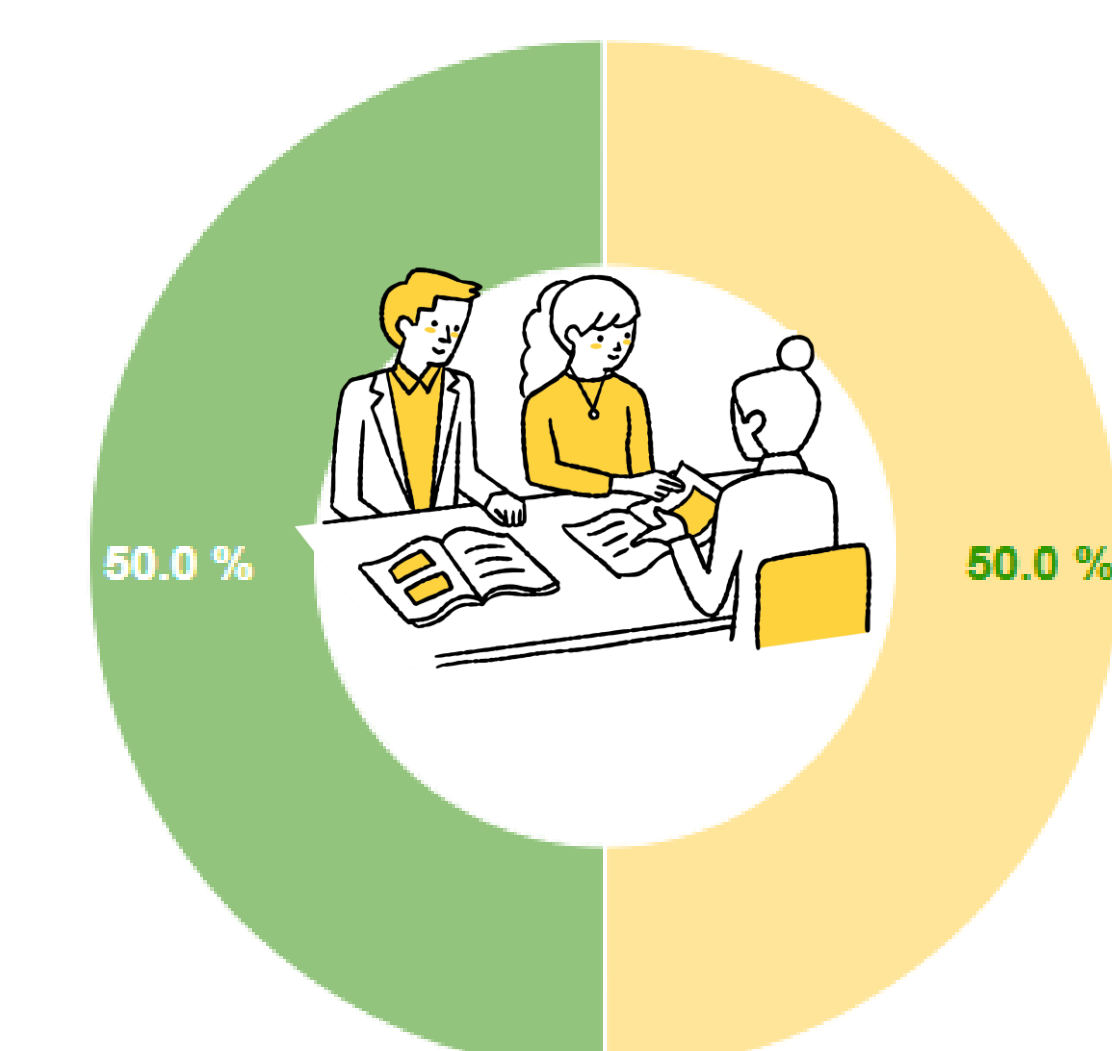
▼ 医療業・福祉業



大きく影響する ある程度影響する 影響は少ない 全く影響はない

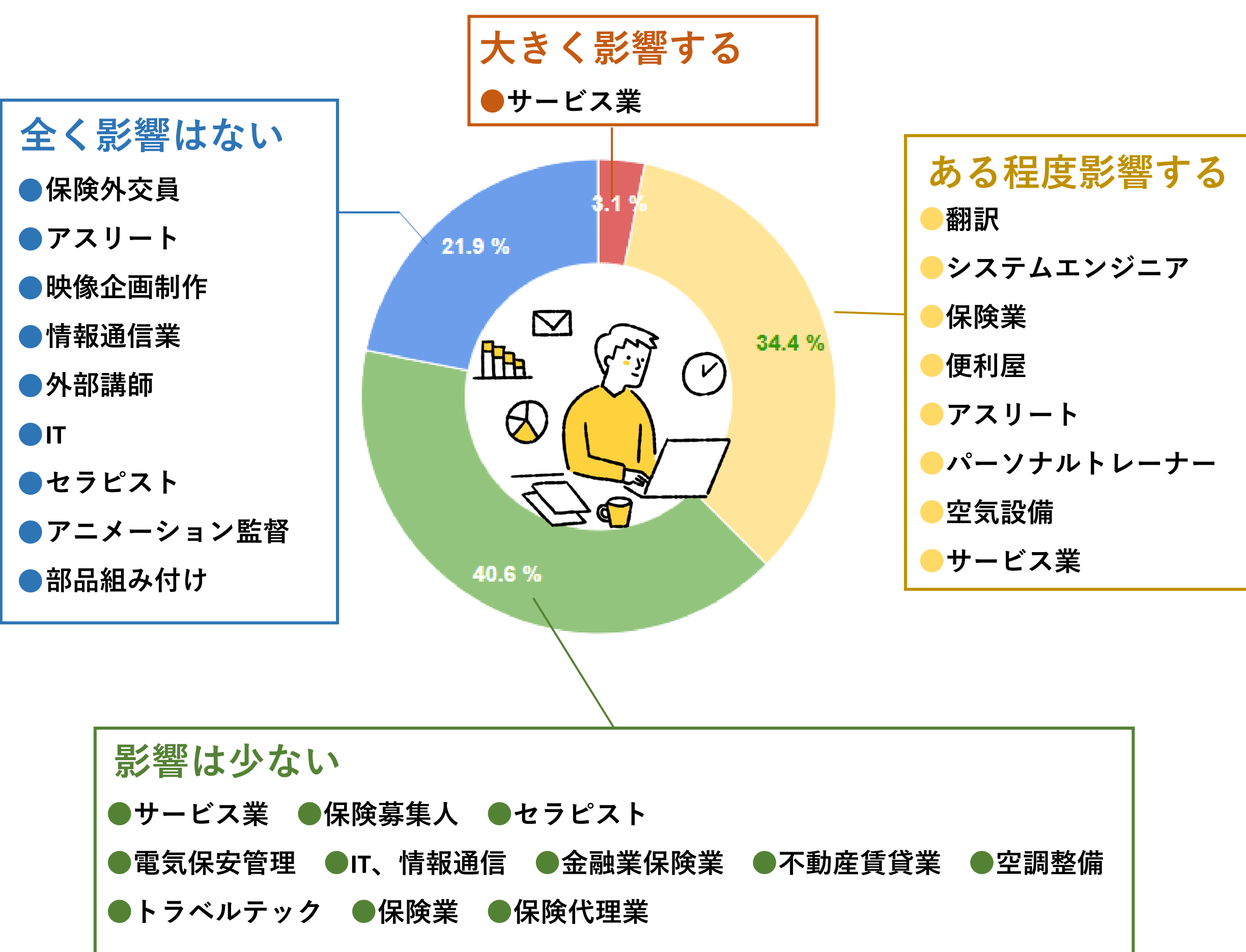
▼ 専門家（士業・FP・コンサル）

▼ 個人投資家



大きく影響する ある程度影響する 影響は少ない 全く影響はない

▼ その他



学歴と仕事

ー学歴と仕事の関係について、あなたはどのような考えをお持ちですか？

キャリアアップ・知識

- 学歴があると何かを学ぶことのコツやスピードは速い
- 肩書はサラリーマンにしても事業者にしても信用に大きく影響する
- 大手企業や官公庁等に就職したくないのであれば中卒でも良い
- 中途半端な大学卒は肩書だけであまり意味がないと感じるが、難関大学の場合はそこに至るまでの努力が仕事にも活かされると推測する
- 学歴と仕事の関係は学歴が高いほど、専門職に就く可能性が高くなる
- 幅広い知識、パソコンの知識、即戦力で大手の会社に就職できる可能性が高い
- より高度な知識と経験が求められる場合は大学で究めた方が良い
- 個人相手の仕事は学歴があまり左右されないが、大手を相手にする仕事は学歴が左右すると思う
- 教養、知識などを言動に取り入れて、お客様とのコミュニケーションを得る事が出来る
- 学歴があるということは、それだけ机に向かってきたり、仕事で出て役に立つ立0たないは別として、努力してきたという実績がある。仕事をする上で勉強の仕方を知っている人の方が伸びる
- 学歴があることで、仕事や資格の選択肢がふえるので有利になる
- 論理的な思考の違いや物事の取り組み方の姿勢が違ってくる
- 業界によって異なるが、最低限必要なものはあると思う。仕事をする上で資格などをとらなくては行けないので
- 学びの内容は専門的技術にはあまり関係ないかもしれませんが、考える力や深掘り力などに差が出る
- 専門的な分野であれば学歴があり知識をしっかりと身につけている事がプラスになると思う
- 6年行って国家資格を取りました。専門の資格が必要な職業を目指したり、専門の知識を身に付けたいならそれなりの学校に行かなければならない

就職する時のメリット

- 企業に所属する所謂サラリーマンであるなら、学歴が関与する程度が高いですが、自営業やフリーランスではあまり関係ない考える
- 新卒で入社をするときに学歴を見られるのは間違いなし。選択肢を増やすという意味で学歴は重要
- 基本的には学歴がないと門前払いで面接すらされないので通行証である
- 有名大学出身であれば業種のは幅が広がり、大企業へ就職できる可能性が高くなる
- どうしても会社の選択においては高学歴であればあるほど会社の選択の幅は広がる
- 学歴は必ずしも必要ではないが、魅力ある職場や会社はまた学歴を必要とする場合も多いと思う
- 卒業時では良い大学の方が1流企業に入社出来るし、給与も多くよい学歴は必要。
- 学歴が全てとは思わないが就職や定職するのに選択幅が広がるので低学歴より高学歴が良い
- 学歴が必要な業種に就かない限り学歴は必要ないが、学生のうちはわからないため学歴はあるにこしたことはない

学歴よりも大事なもの

- 新卒学歴はコツコツ努力した結果だと考えるため、仕事に対して適切な向上心を持ち、そこに向かって努力できることとして関係が深い
- 学歴より、そこで何をどの様に学んだかが仕事に影響する
- ある程度の言葉遣いや、気遣いができれば、よっぽど関係ないを考える
- 学歴が無くても、本人が本当にやりたい仕事であれば一生懸命になるため、大切なのは仕事に対する気持ち
- 学歴を得るために勉強する習慣を身に付け、学習のコツを習得することで結果として仕事における学習能力も高くなると考える
- 学歴がない側だが、この事で仕事を得るために気にしたことも、障害となったこともない
- 学歴が高い人は入口は広いが、大事なことは、一番は真面目さと人柄である
- 学歴は高ければ受験に対しての努力量や工夫する力が備わる為、学歴は仕事のやり方に影響する
- 仕事に学歴は直接は関係ないが、学歴にて勉強してきたことは仕事に関わってくる
- 学歴社会と言われるが、最終的には人間性と行動力だと考える
- 学歴が高いと、ある程度努力が出来る評価がもらえる。業種によっては学閥も使える
- 色々な事に興味を持つことや、学び続ける力、記憶力、習得力にも差がある
- 仕事ができる事と学歴は比例しない。あくまでその過程で何を得たか

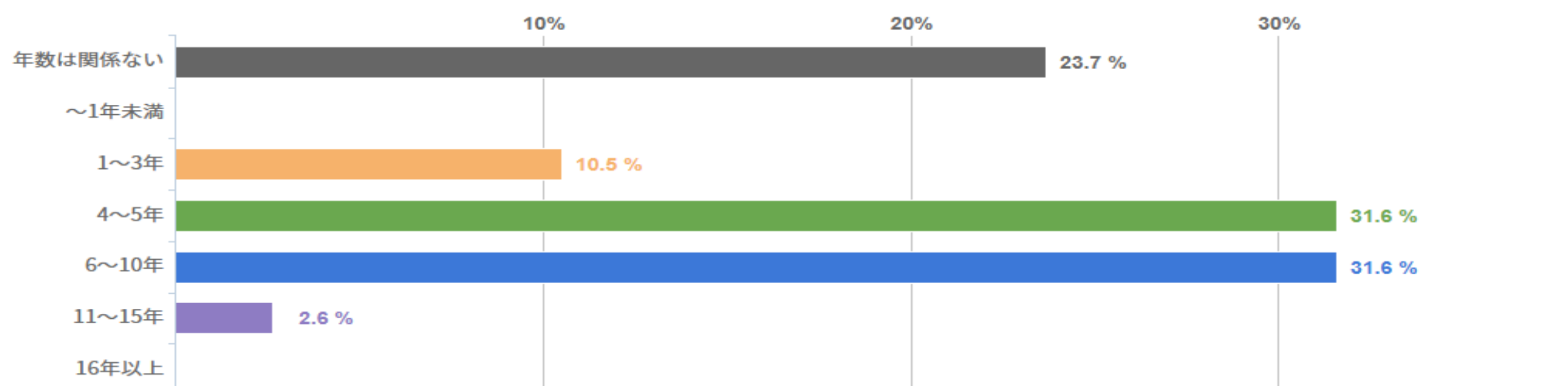
その他

- 新卒採用時は学歴が重視されるが、転職は職歴が重視されるように変わってきたと感じる
- 学歴が高いほど有利な職場ではある。ただ、技術である以上学歴と技術力は必要
- 医者等大学を卒業しないと出来ない職業以外はあまり関係ない
- 学歴は仕事の関係はない。大学卒でも年収が低い人もいるし逆に中卒でも年収が高い人もいる
- 学歴が仕事のクオリティに直結するわけではないが、契約前の判断材料として影響することがある
- 勉学は必要と思いますが、学歴があろうとなかろうと仕事にはあまり影響しない
- 当たり前のことが当たり前にできることが何より大事
- 学歴なんてものは重要視されず、一般常識とコミュニケーション能力があれば大概問題ない
- 職業によって様々ですが専門的な仕事をするに当たって、学歴や専門知識は必要
- 学歴があるほど与えられる仕事もあるとは思うが、なくても努力すればできる仕事もある
- ある程度の専門職であれば、学歴も必要かと思っているが、知識とスキルがあればできる仕事であれば学歴は関係ないと思う

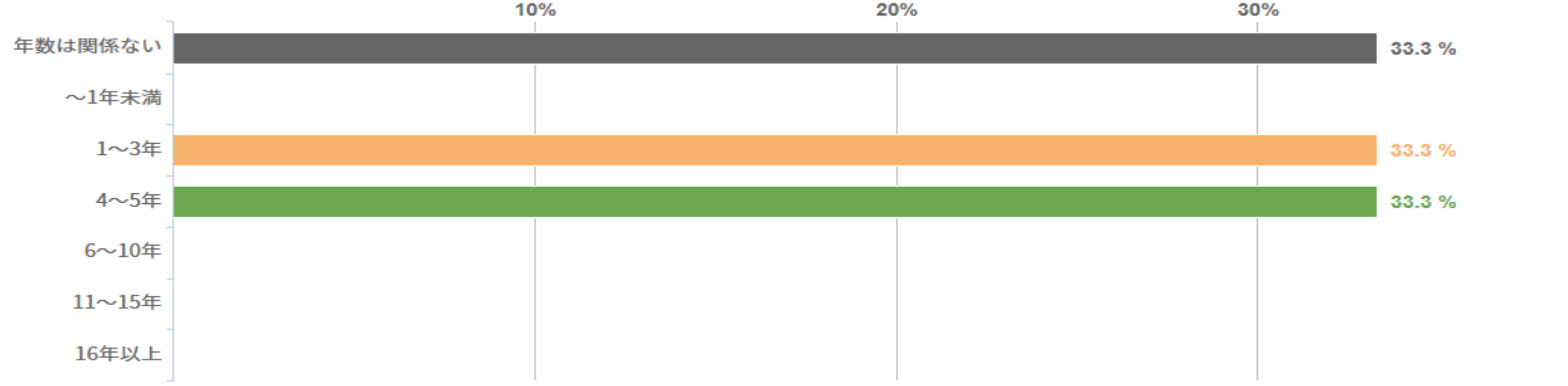
一人前と呼ばれる年数

－あなたの業界では、何年働けば一人前と呼ばれますか？

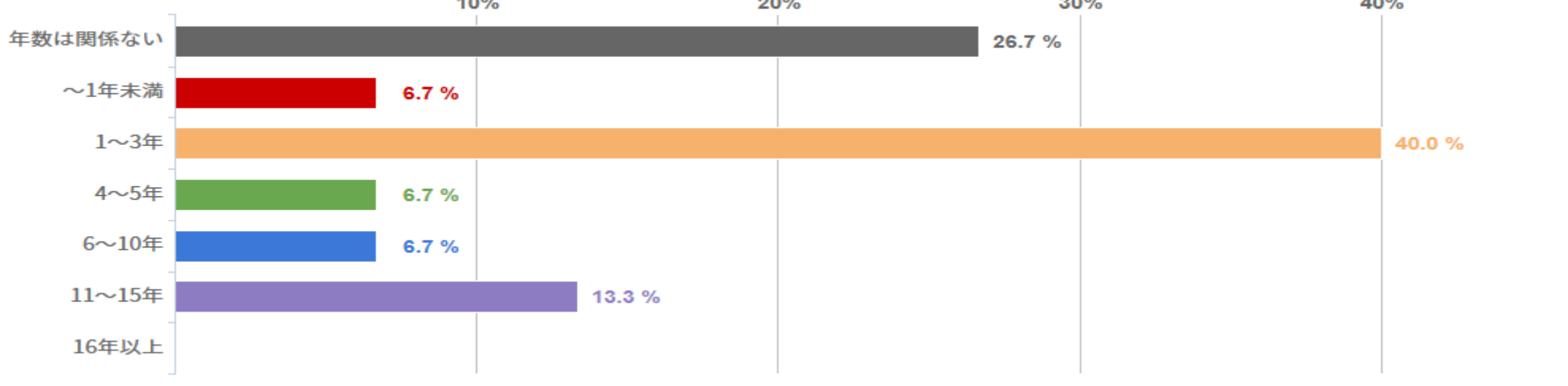
▼ 美容業



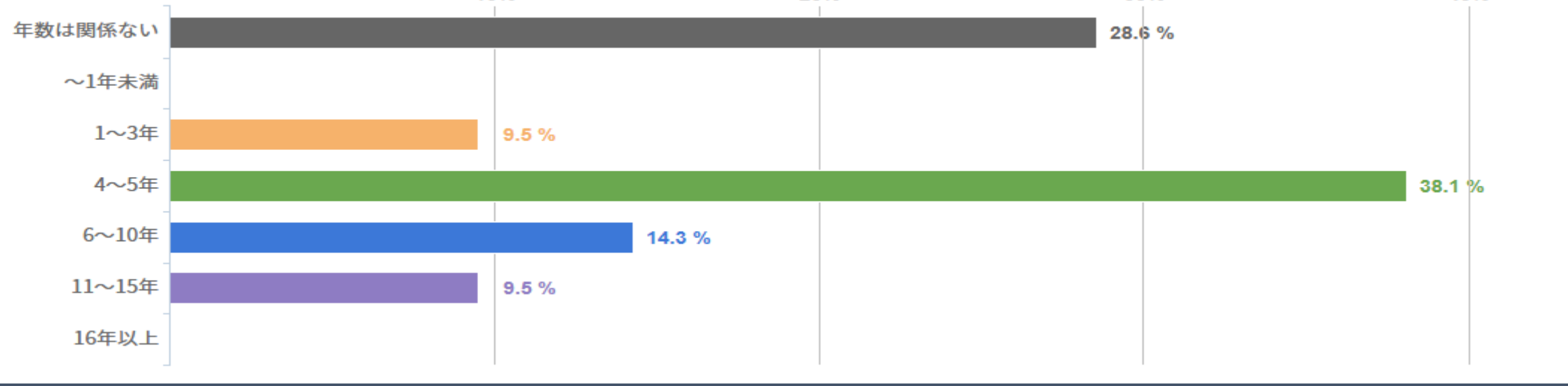
▼ 飲食業



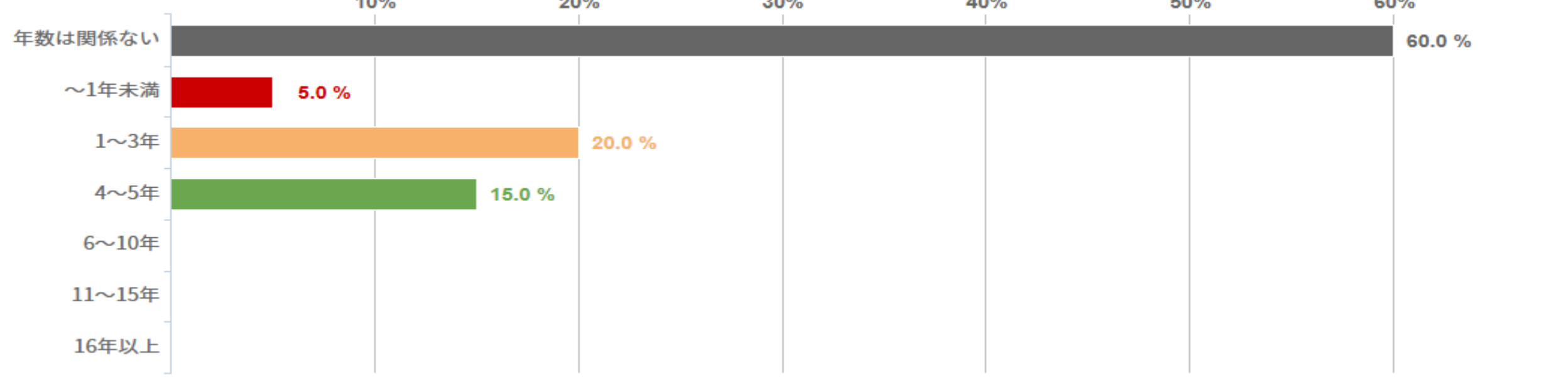
▼ 小売業



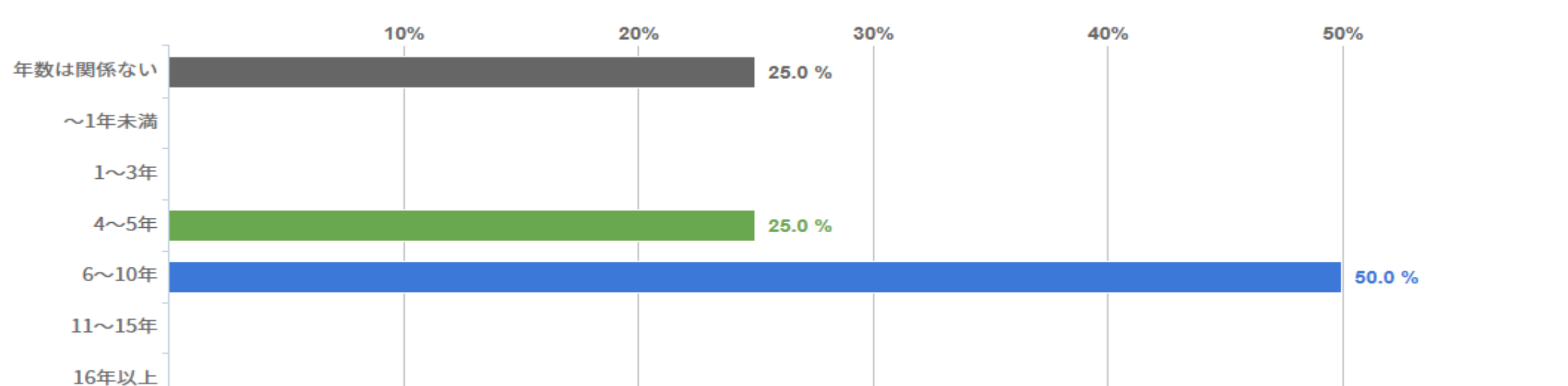
▼ 建設業



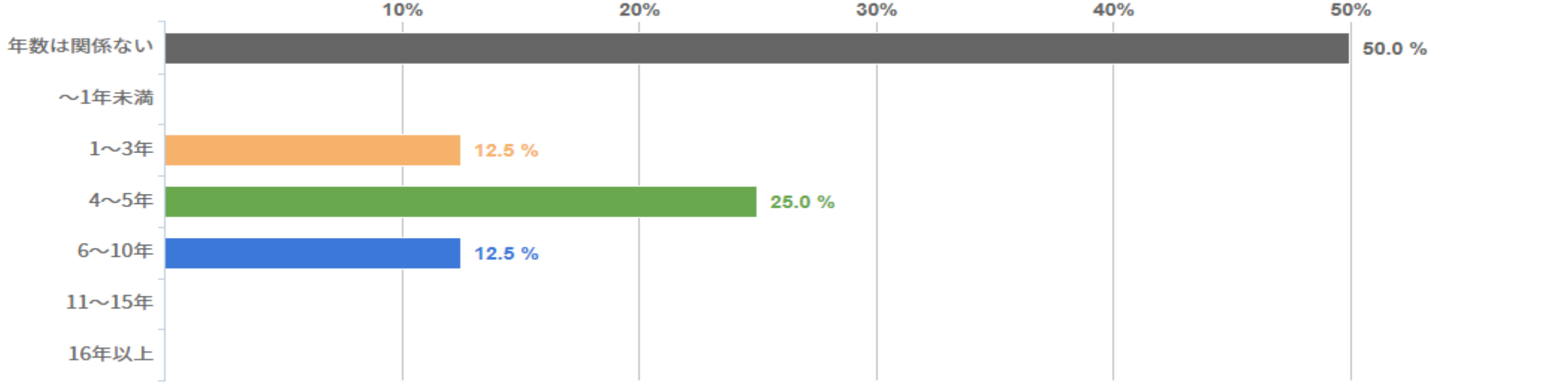
▼ 運送業



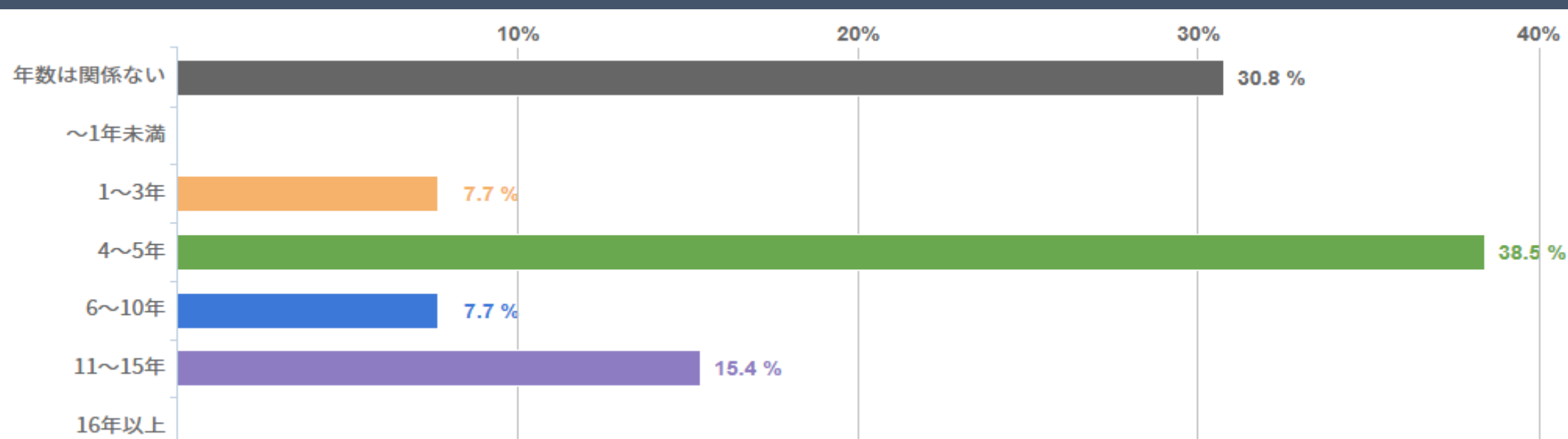
▼ 不動産業



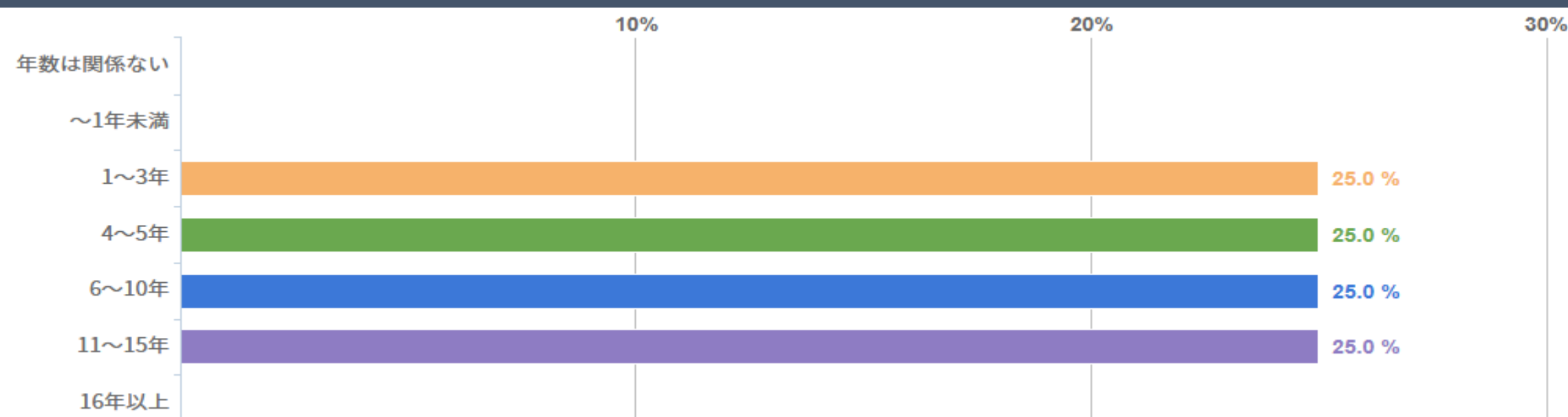
▼ WEBサービス業



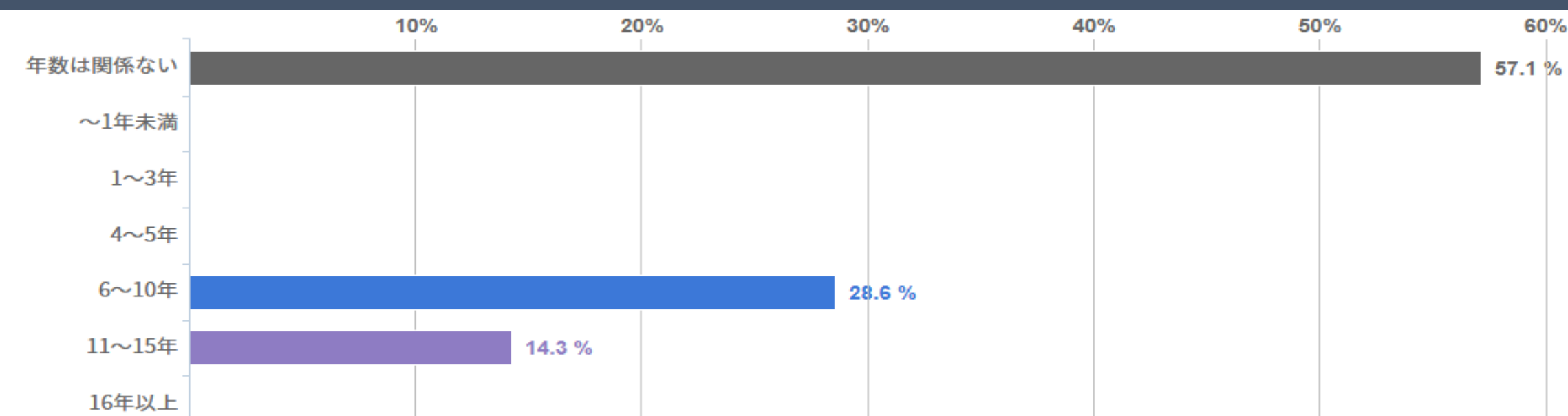
▼ 医療業・福祉業



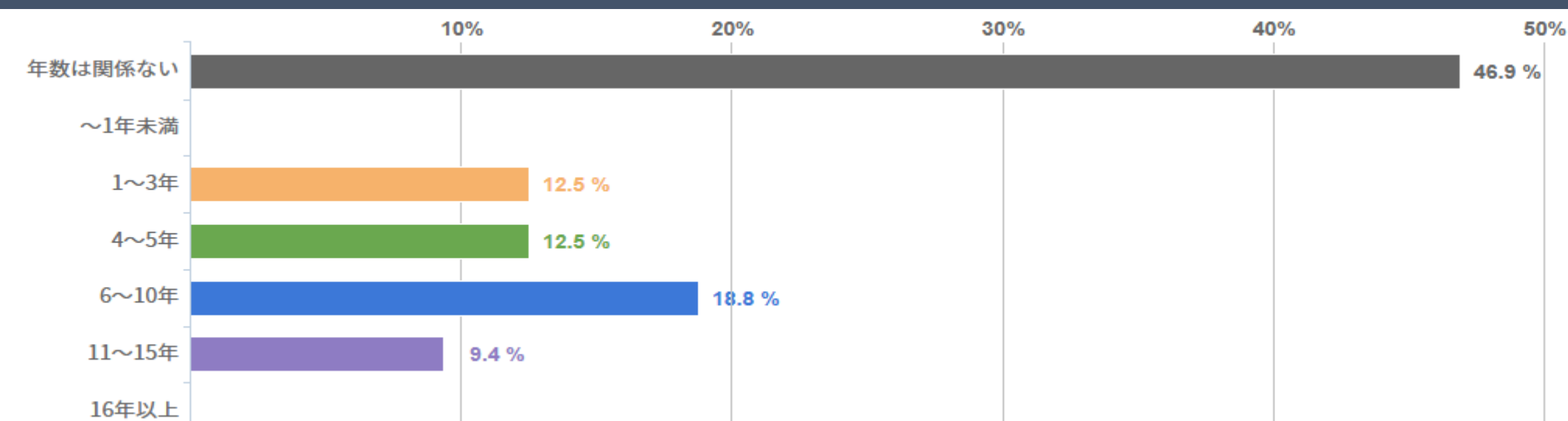
▼ 専門家（士業・FP・コンサル）



▼ 個人投資家



▼ その他



年数は関係ない

- サービス業 ● 保険業 ● アスリート ● 便利屋 ● サービス業 ● 不動産賃貸業
- 教育業 ● 空調整備 ● 保険募集人 ● セラピスト ● 情報通信業 ● 外部講師
- アニメーション監督 ● 金融業 ● 部品組み付け

1～3年

- システムエンジニア ● トラベルテック ● 教育サービス業 ● 翻訳

4～5年

- 保険外交員 ● IT ● IT・情報通信 ● 不動産賃貸業

6～10年

- 保険業 ● 映像企画制作 ● 保険代理業 ● 電気保管管理 ● アパート経営 ● 製造業

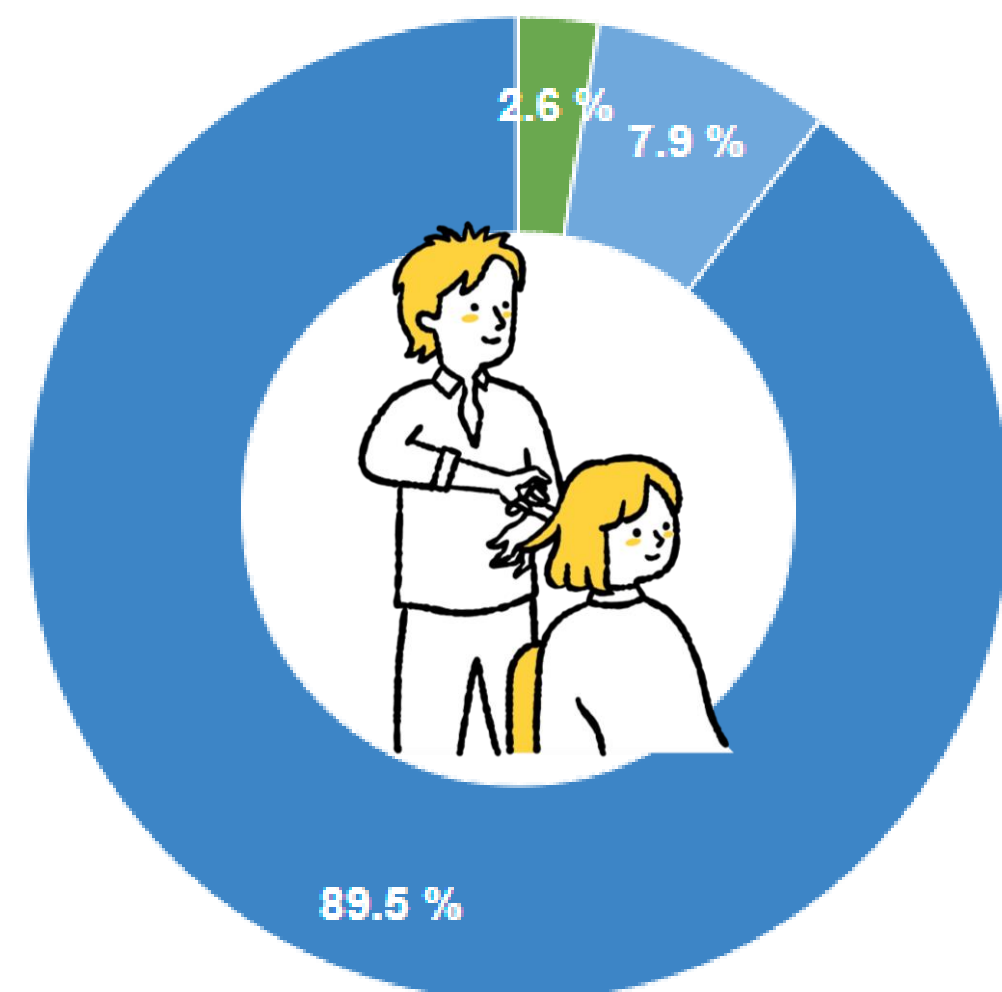
11～15年

- 保険業 ● 電気工事業

現在の仕事の経験年数

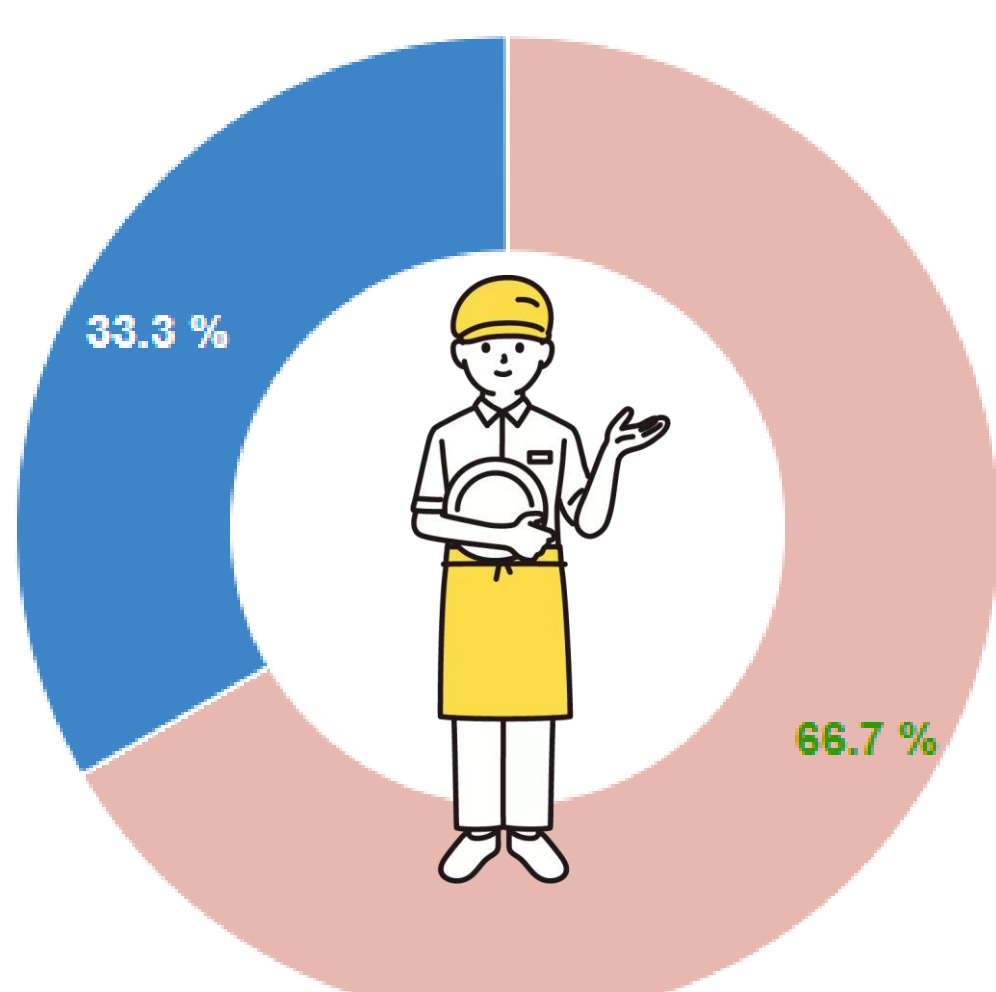
－現在の仕事をし始めて何年目ですか？

▼ 美容業

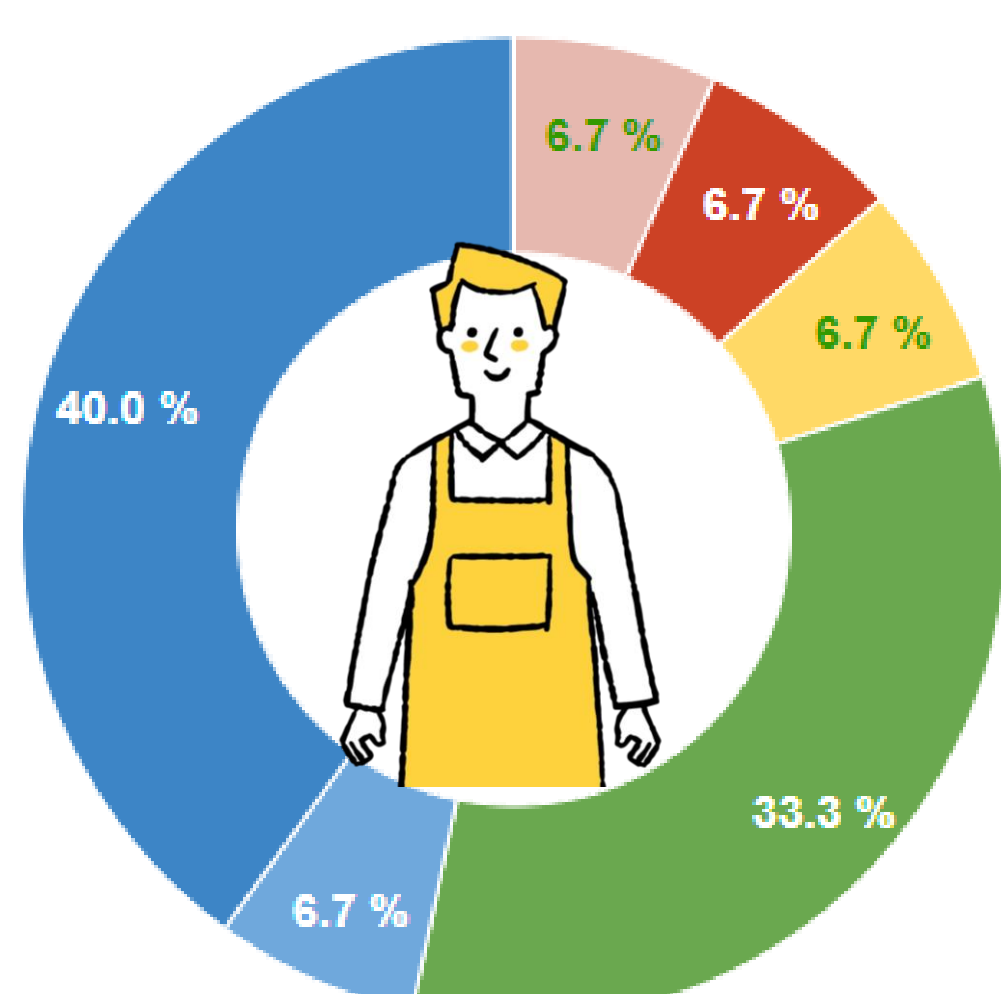


～1年未満 1～3年 4～5年 6～10年 11～15年 16年以上

▼ 飲食業

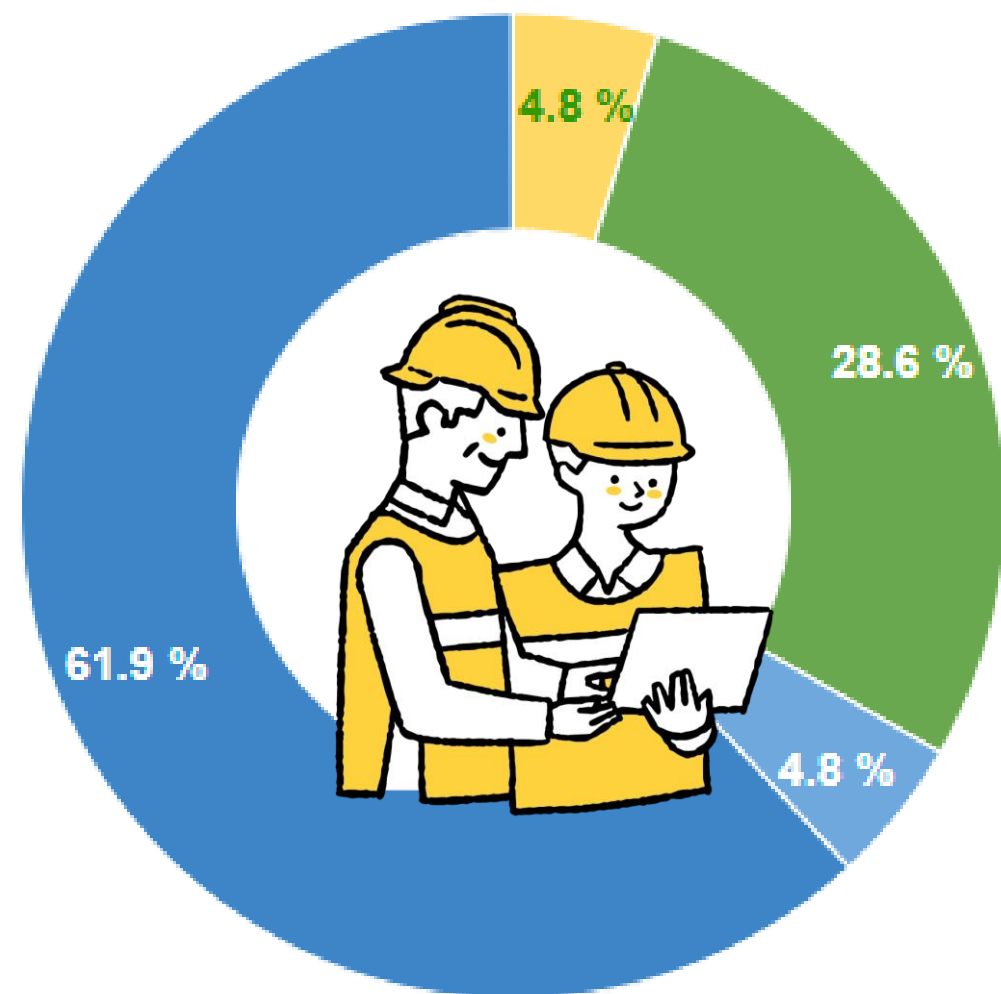


▼ 小売業

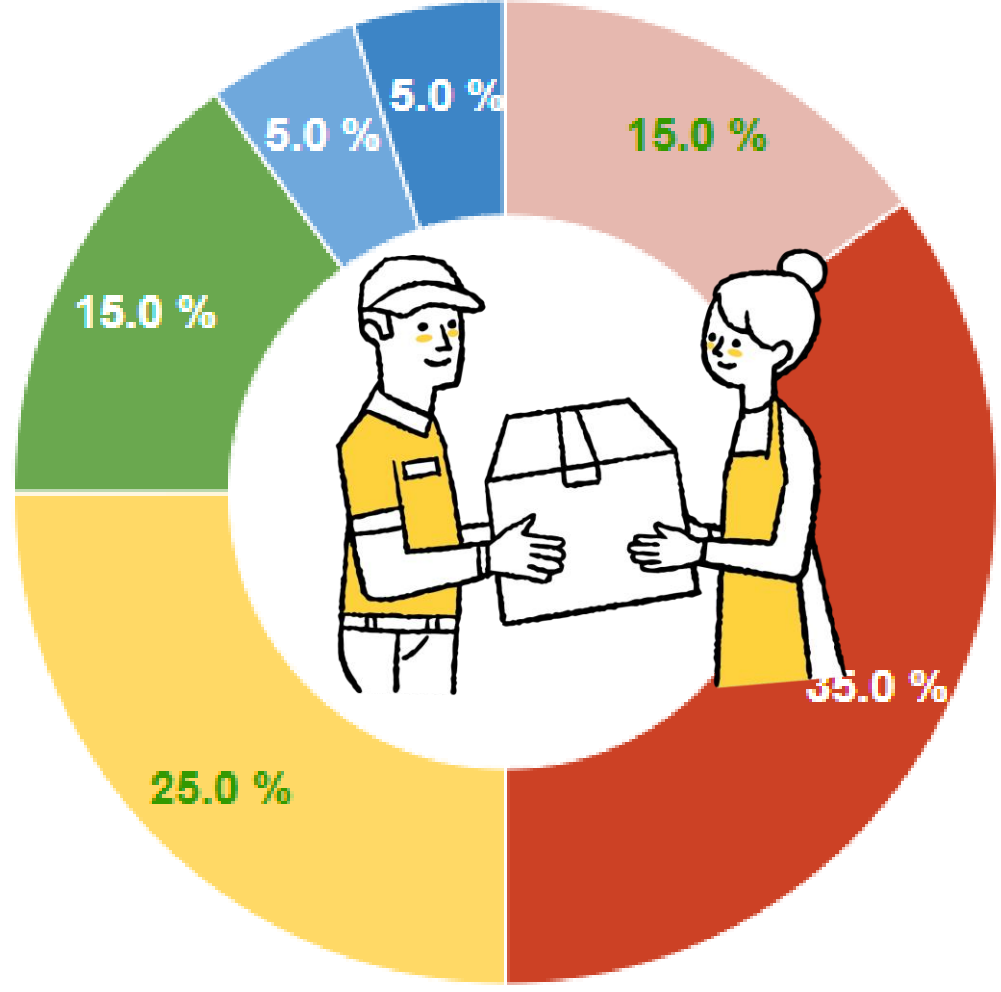


～1年未満 1～3年 4～5年 6～10年 11～15年 16年以上

▼ 建設業

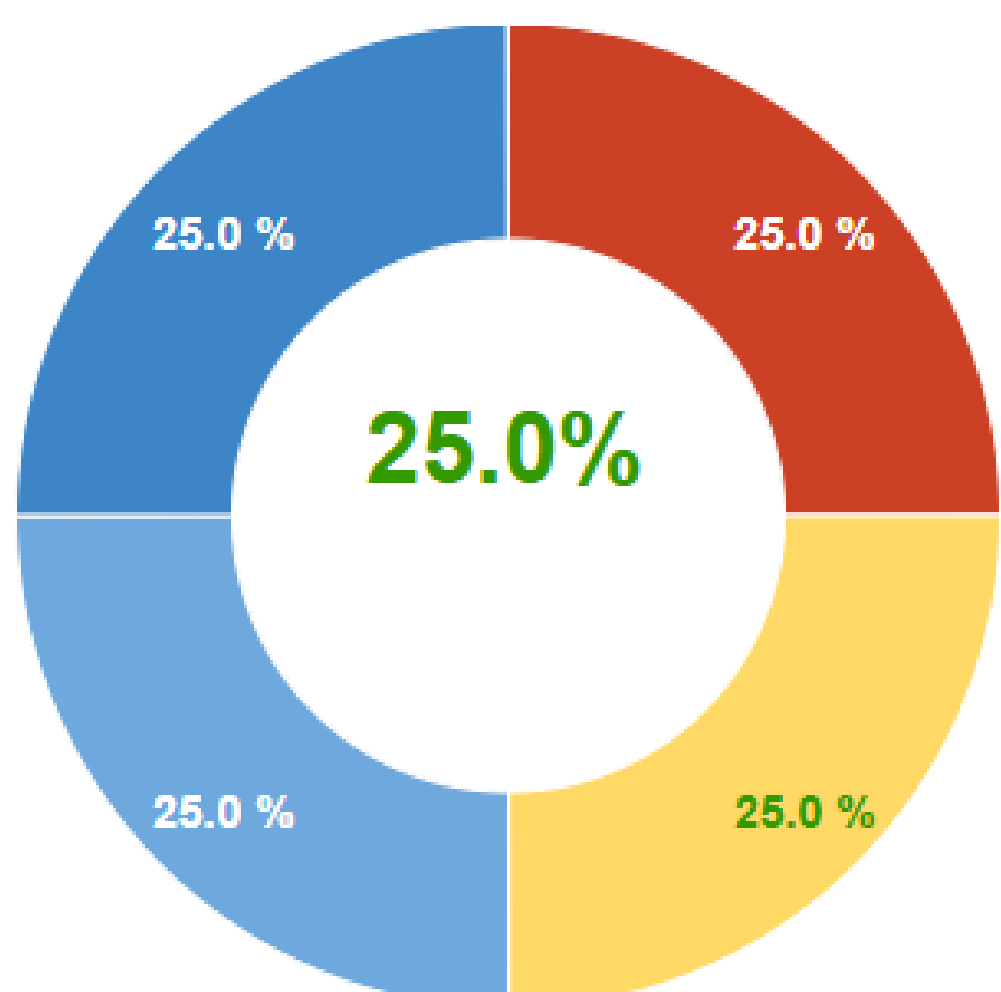


▼ 運送業

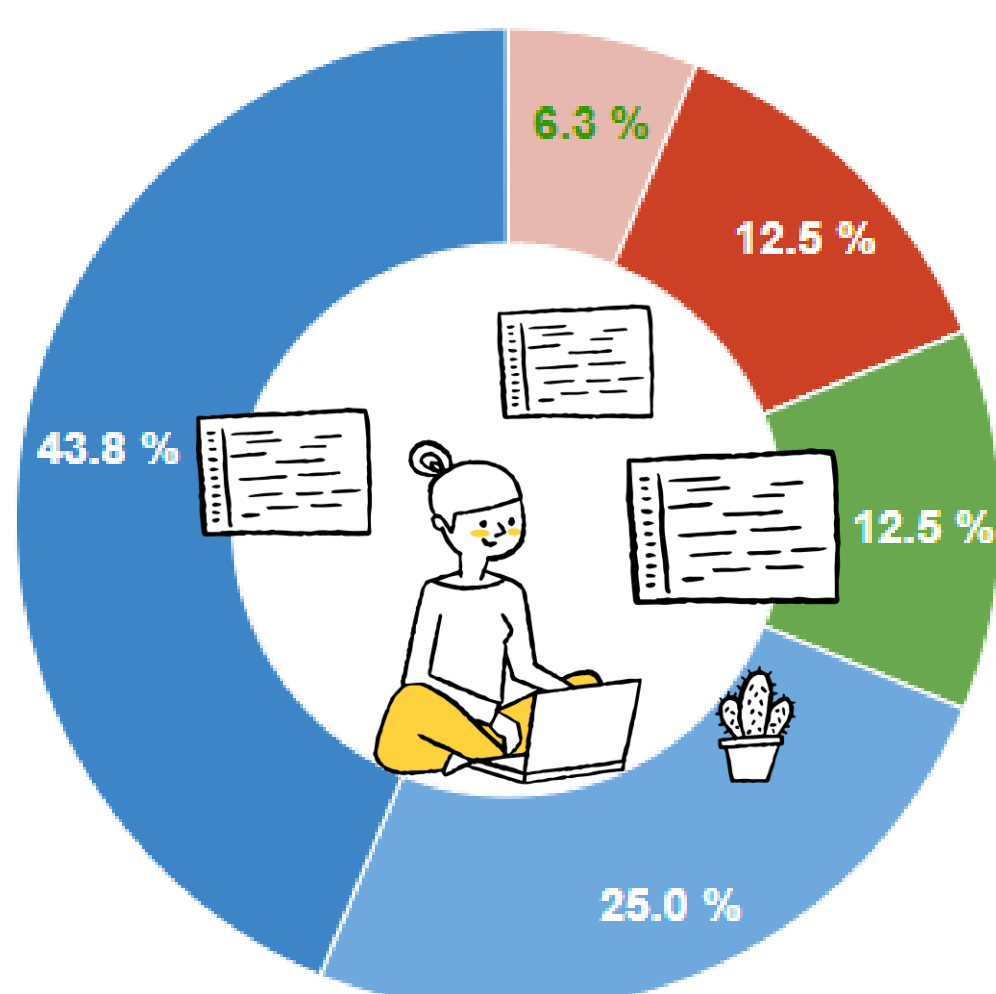


～1年未満 1～3年 4～5年 6～10年 11～15年 16年以上

▼ 不動産業

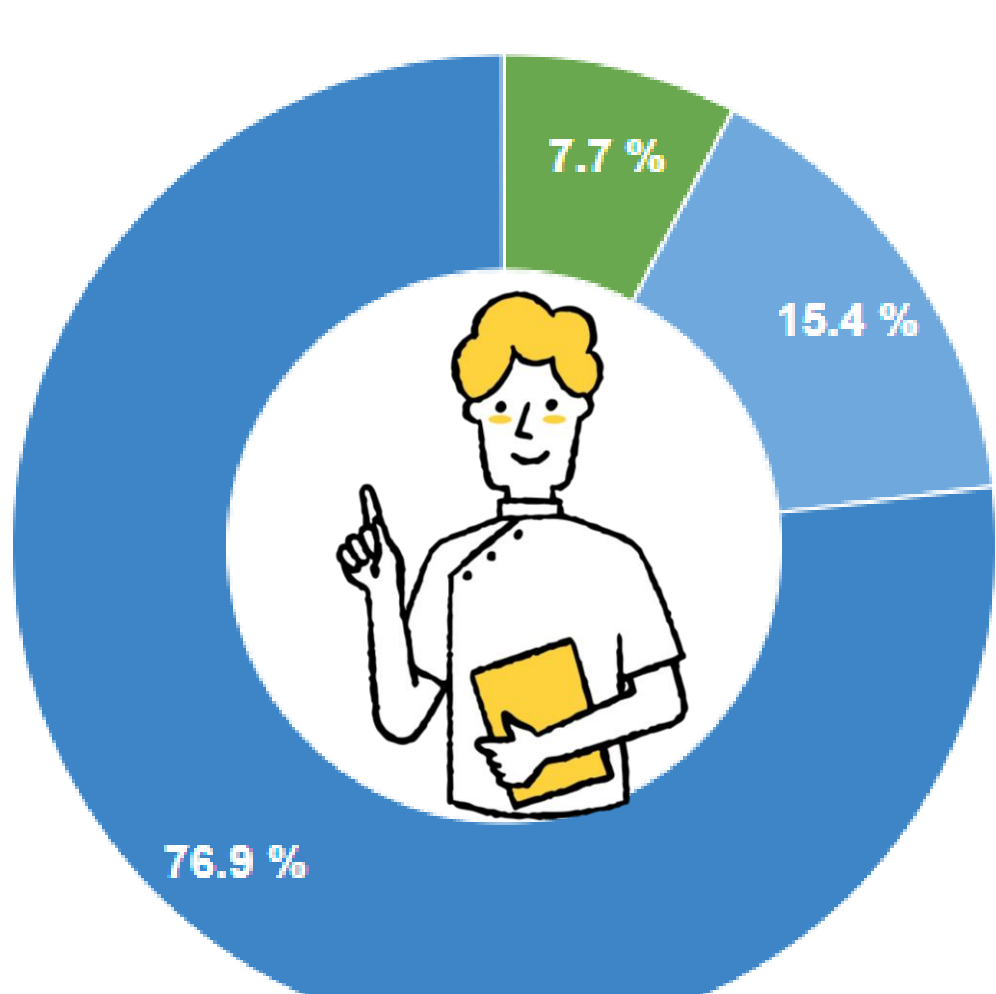


▼ WEBサービス業

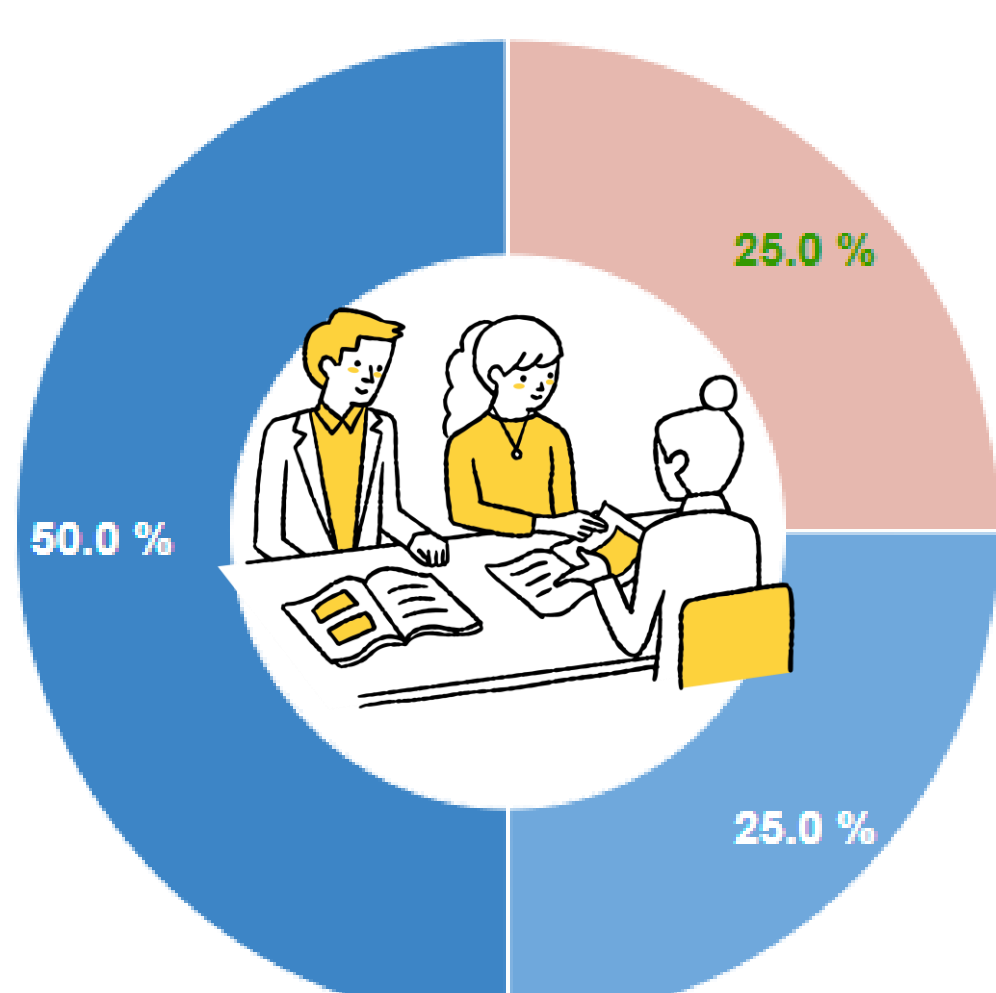


~1年未満 1~3年 4~5年 6~10年 11~15年 16年以上

▼ 医療業・福祉業

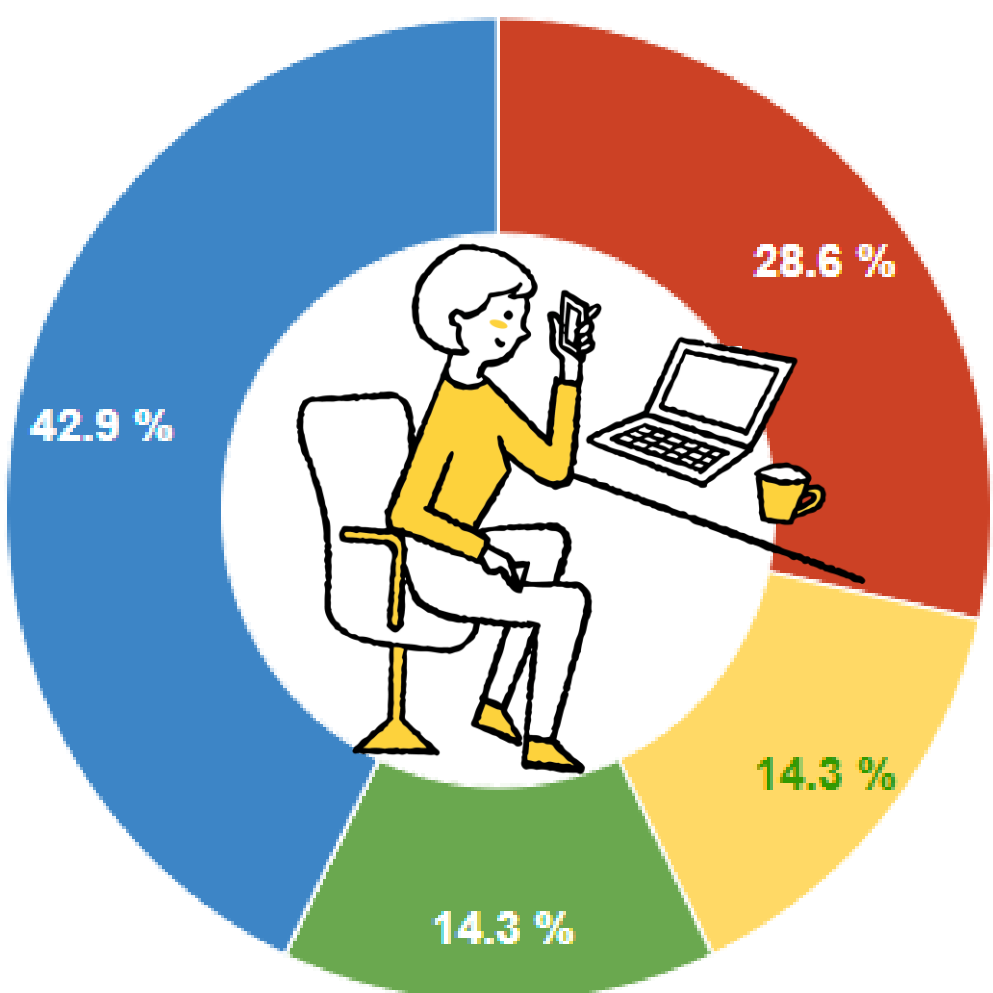


▼ 専門家（士業・FP・コンサル）



~1年未満 1~3年 4~5年 6~10年 11~15年 16年以上

▼ 個人投資家



▼ その他

16年以上

- システムエンジニア
- 保険業
- サービス業
- 映像企画制作
- 保険代理業
- 保険募集人
- 映電気工事業
- 情報通信業
- IT
- IT・情報通信
- 外部講師
- アパート経営
- アニメーション監督
- 金融業

1~3年

- 便利屋
- 空調設備

4~5年

- サービス業
- 翻訳
- 電気保安管理

6~10年

- アスリート
- 保険業
- 不動産賃貸業
- トラベルテック
- 部品組み立て

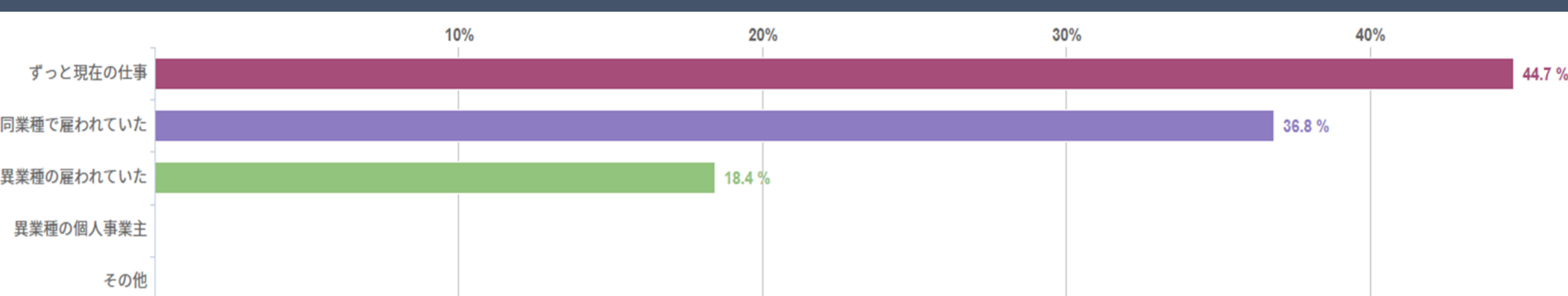
11~15年

- 教育業
- 保険業
- セラピスト
- 教育サービス業
- 不動産賃貸業
- 製造業

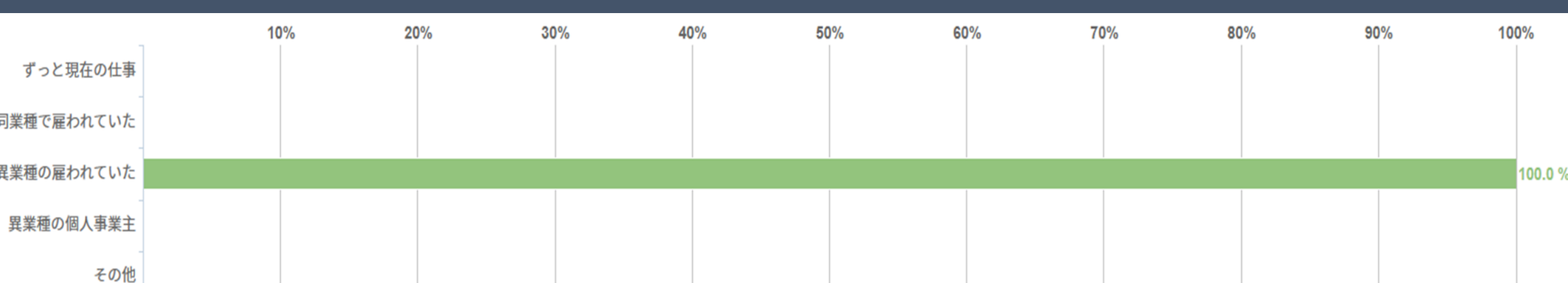
現在の前の仕事

ー現在の仕事をする前に、どのような仕事をしていましたか

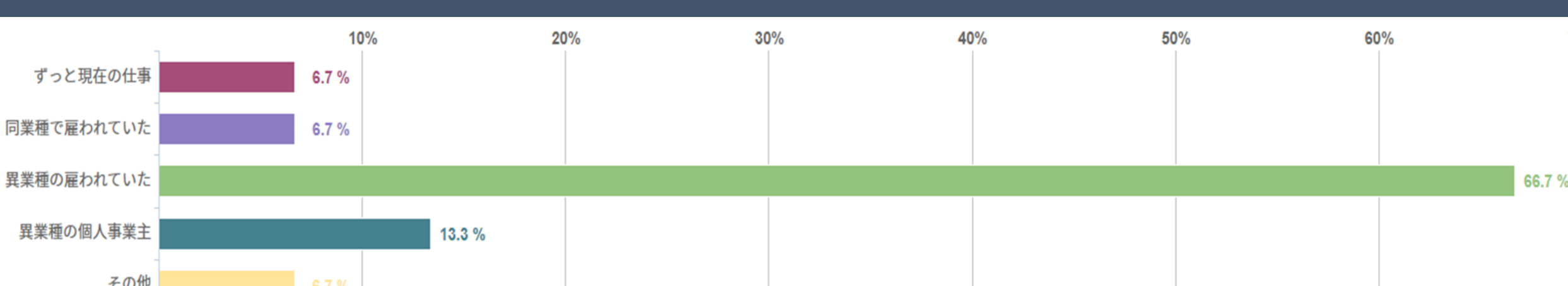
▼ 美容業



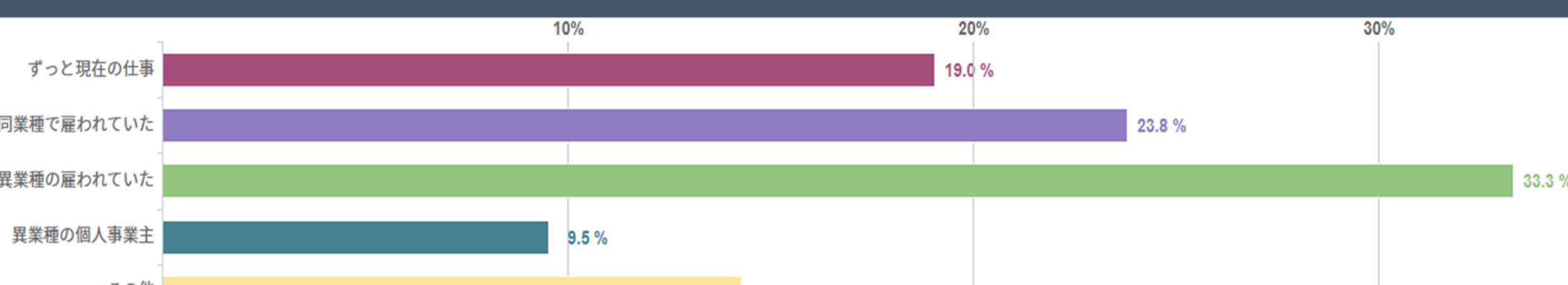
▼ 飲食業



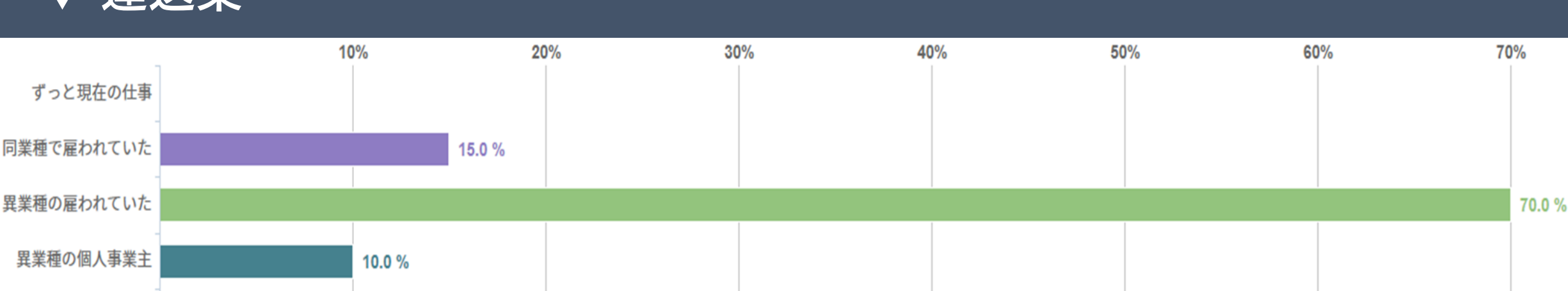
▼ 小売業



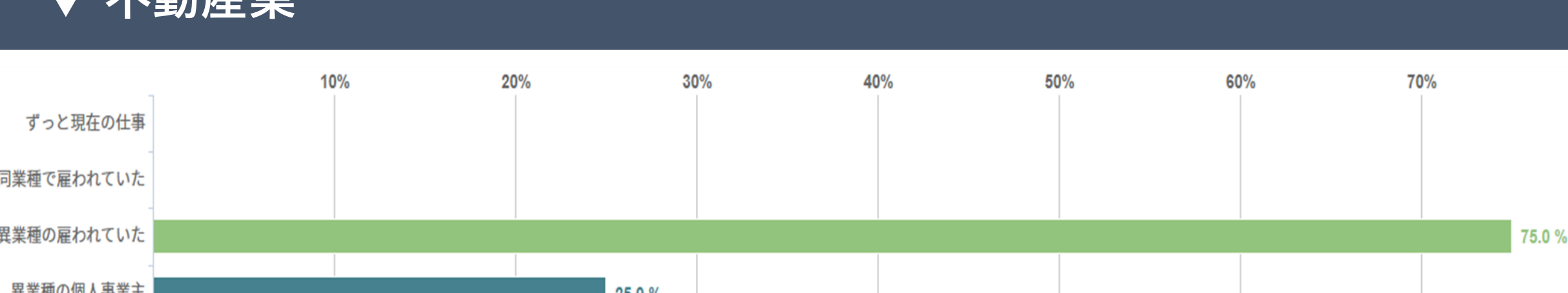
▼ 建設業



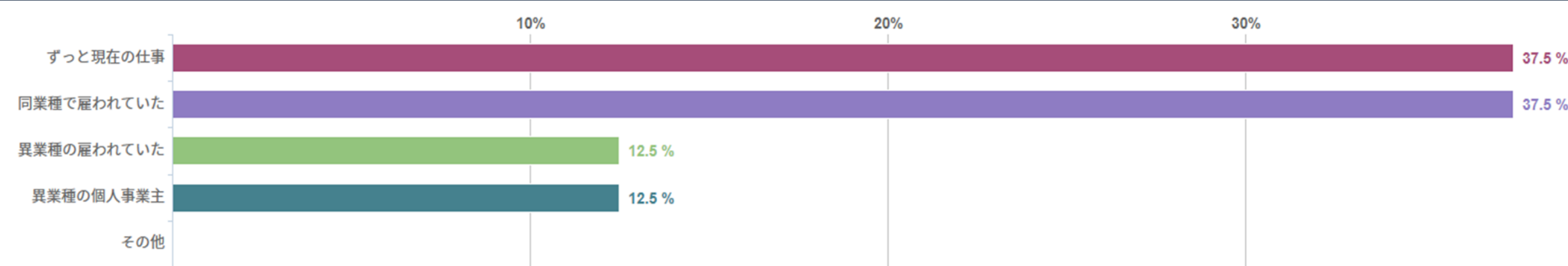
▼ 運送業



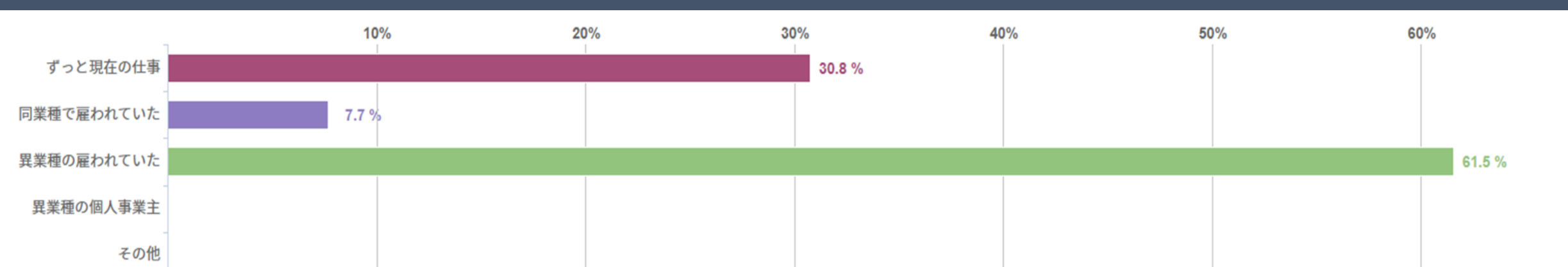
▼ 不動産業



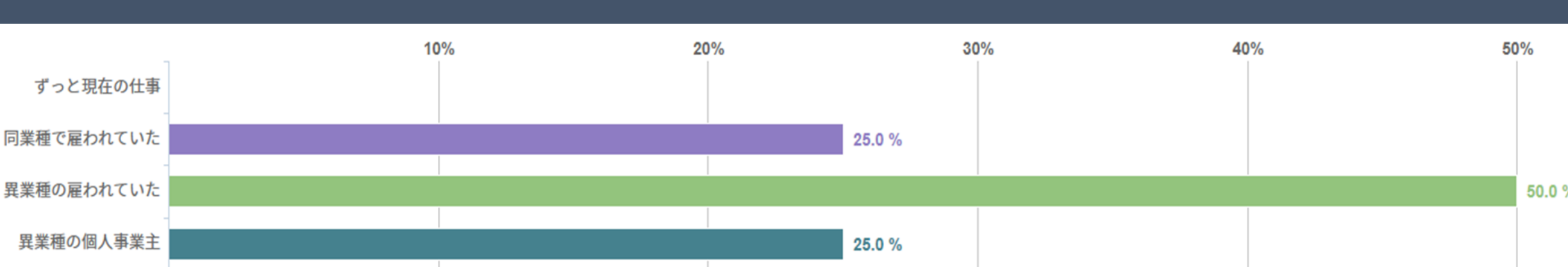
▼ WEBサービス業



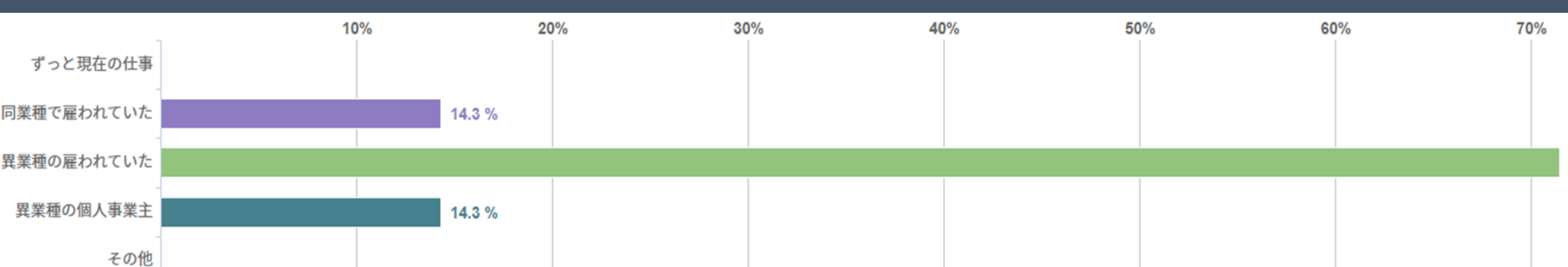
▼ 医療業・福祉業



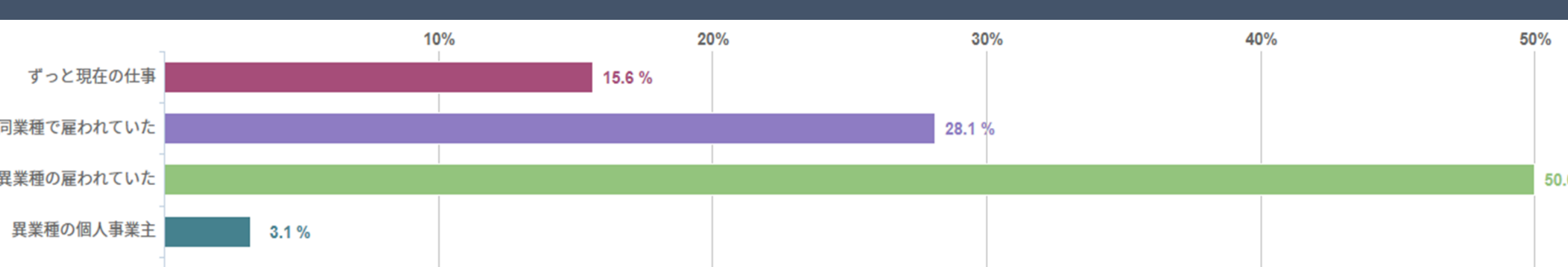
▼ 専門家（士業・FP・コンサル）



▼ 個人投資家



▼ その他



ずっと現在の仕事

● アスリート ● 映像企画制作 ● 情報通信業 ● 外部講師 ● アニメーション監督

同業種で雇われていた

● サービス業 ● 翻訳 ● 保険業 ● 電気保安管理 ● 電気工事業 ● 教育サービス業
● IT ● IT・情報通信業

異業種で雇われていた

● 保険業 ● システムエンジニア ● 保険外交員 ● 便利屋 ● 不動産賃貸業 ● 教育業
● 空調設備 ● トラベルテック ● 保険代理業 ● 保険募集人 ● セラピスト ● 金融業
● 保険募集人 ● 不動産賃貸業 ● 製造業

異業種の個人事業主

● アパート経営

その他

（働いていなかった）

● 建設業

（同業種経営）

● 建設業

（アルバイト）

● 建設業

（専業主婦）

● 小売業

（会社員）

● 部品組み付け

転職について

ー石の上にも3年という言葉がありますが、
あなたは昨今の転職事情や、すぐに仕事を変えるような働き方についてどう思いますか？

働く環境の転換

- 自分に向かない職業であれば早期に転職するのも有り
- 前向きな転職には賛成ですが、現職が嫌になって等、後向きな転職はあまり良く思わない
- 新卒の時はギャップを感じたら早めに転職をしたほうが良いと思う
- 仕事をこころろ変えるということは、集中力や責任能力が欠けており、転職したところで何事も長くは続かないのではないかと思います
- すぐに辞める前にもう少し頑張ってみたらいいのでは？と思うが、環境によっては続けられないなら辞めていいと思う
- どうしても仕事合わない、職場環境になじめない事があれば転職をした方が良いと思う
- より良い条件や環境を探すのは当然のこと
- 転職はありだと思う、人生一回しかないので自分のやりたい仕事を選ぶのはいいこと
- 賛成。何事にも向き不向きがあり、やってみないとわからないという事もある。
様々なパターンを学習する事によっての集積力の才能を持っている人もいる。
「石の上にも3年」の考え方は多くの場合「耐える」という発想に基づいていて「才能が開かない場所で歯を食いしばって耐え忍ぶ苦勞」を指している場合がある。これは私の全くの主観だが苦勞した期間を誇るよりも「情熱の中に生きて振り返ったら道ができていた」という在り方が、つまり才能を使う事なのだと思う。転職などはその情熱のゾーンに辿り着くための有効なアクションの一つ。
多様化もあり、適性など方向性が変わっても活かせる道があれば積極的に動いても良いと思う
- 合わない仕事、合わない人間関係の中で成長できないなら、自分に合うものを探して仕事を変えることはいい事だと思う
- 本当に自分のやりたい仕事が見つかるのであれば良いと思う

キャリアアップを目的とした転職

- 転職を重ねて自身に合った職業を見つけるべきと思う。キャリアアップを狙うなら3年は関係ない
- 転職することはキャリアアップできる為、どんどんすればいいと思うが、今の仕事合わないなどの理由で変えることはお勧めできない、そのような場合は石の上にも3年と言いたい
- 社会人5年目でほぼ毎年転職をいているが、その方がたくさんの経験ができ、対応力もつくので良い
- 会社を辞めた後のキャリアがしっかりと自身の中で固められているなら、3年を待たずもっと早く辞めてもいいと思う
- 経験値を積むためなど、目的があって転職するのであれば構わないが、何も習得しないままに合う合わないを決めてしまったり、課題に直面したときに解決する努力をしないまま環境のせいにして退職するケースは、職場環境だけに問題があるわけではないことが多く、結局転職してもうまくいかないように思う

- 積極的にステップアップできる転職なら良いが逃げの転職は良くない
- 能力があるなら、自分に合った評価をしてくれる職場に移った方が良い
- 目標があったり、色々な経験を積める点でいいと思う
- 戦略性があれば構わないが、キャリアデザインをきちんと描ける人でないと不利になりやすい
- 統一された方針があり、先が見えているなら方向転換も良いと思う。しかし、出来るなら自分の進む方向やキャリアプランをしっかりと策定して最低3年以上努力する方が好ましいと考える
- 能力のある人はどんどん転職して自分の理想に近い仕事を探せば良い

勤続年数の長短

- スキルや実績があり、顧客に価値提供ができるなら、特に勤続期間はどうでもいい
- やはり10年位は続けた方が良いと思う
- 基本的にはスキルアップの為の転職はありだと思う。ただ、仕事に就いて半年とか1年ぐらいでその仕事の本質が分かっているうちの転職はどうかとも思う(人間関係などの問題がある場合は別)
- 半分はせめて一年以上の忍耐は必要だと思うが、もう半分は色々な事を経験することも大事だし嫌なことを我慢するよりも自分に合う仕事を探すのも大事だと思う
- 信念を持って転職をするのはいいが、ただ逃げてるのはダメだと思う。就職1発目は3年頑張るべき
- 若い人は正直3年ぐらい働いてみないと仕事の本質等分らないと思うが、ある程度年齢を重ねて経験を積んでる人は見切りは早い方が良いと思う
- 個人のスキルを上げる意味では数年間の我慢が必要だと思う。頻繁に転職するのは時間の無駄
- あまり良くはない、3年も続かず合わないと思うのは早すぎで、まだ本質が分かっている
- 専門職はある程度経験をつまないと楽しさなどがわからないため、3年位は働いた方が良い
- まずは3年は同じ場所で働いた方が色々と見えてくる所もあるのでコロコロと変えるより良い
- 仕事についてはそれぞれに適正があるため転職については良い事だと思うが、何事も2〜3年はやってみないと何も学べないし身に付かないのでキャリアとはならない

時代の変化

- ずっと継続して勤める時代は終わったと思うため、現代社会においては当たり前になりつつある
- 自分の時代はいい大学を出ていい会社に入るのが1番という考えが蔓延っていた
- 昔は最低3年働かないと何も分からないと言われていたが、今は自身の働き方に合ってる職を探す風潮になってきている
- 働き方が変わってきており、転職していろいろチャレンジしていくことを前向きに考えている若者がとても多いため、雇う方も今までの考え方ややり方を変えて行った方がいいと思う
- 日本では転職は良くないものだという認識であったが、最近ではかなり認められていると思う
- 今の時代においてはそういう働き方が多くて、馴染めれたら良いと思う
- 技術の進歩や経済の変化などにより、柔軟性や適応性が求められる状況です
- 30年前は一箇所で長く働いた方がいいみたいな風習があったが、今は仕事を変えてもいいと思う。
- 自分の気持ちに素直に生きるのがいいと思う

その他

- 将来の不安から色々な事に取り組む事は良い事だと思う
- 色々な働き方があるので本人の自由だと思うが、長く働けるなら長く働いた方がいいと思う
- 自分の考えがあつての転職はいいと思うが、ただ嫌なだけの転職は我慢したほうがいい
- 転職サイトが持て囃されている現在では産業も衰退するほかになく、辛いからとすぐ辞めるようでは人間的にも成長することはないと思う
- 業種が180度変わるような転職は良く無いが、同じ業種での転職は視野を広げるために良いと思う
- 自分にあった仕事を探すべきだと思う
- ステップアップや賃金アップなど目的は様々だが転職する事は良い事だと思う
- 楽しさ面白さを知る前に辞めてしまうのは勿体無いと思う反面、色々なことにチャレンジできるのは良いことだと思う
- 転職は新しいチャンスに繋がる良い選択だと思う
- 能力がある人のステップアップはいいが、能力がない人の転職はかなり厳しいと思う
- 情報が得られることにより転職がしやすくなったが、続けてわかる仕事の本質は得られづらい
- 時間は有限なので「自分に合わない」と判断したのであれば、早々に転職したほうが労働者、雇用主双方のためだと思う。
- 良いことだと思う。向き不向きはあるし、転職して他の仕事をしてからでないと気付かないことがたくさんある
- 各職業や各職場が自分に合う合わないがあるので自分合った働きやすい場所を探す方がいいと思う
- 色々出来て器用だと思われるかもしれないが、結局極めてないと思う
- 職場環境や人間関係が合わない場合など、我慢していても状況が良くなならないときは積極的に転職を考えるべきだと思う
- 辞め癖がつかないのであればいろいろ経験すると良い

仕事を続けるための価値観と信念

ー個人事業主として長く仕事を続ける上で、最も重要だと考える価値観や信念は何ですか？

美容業

- 最終的にはお客さんを幸せにする必要があるが、それよりも自分を豊かにする責任がある
- 仕事が好きかどうか全て。テクニックや考え方は後付けしてもいい。はじめに持っていた情熱を常に思い返すこと。情熱が執着に変わると、色々な事が苦しくなる
- お客様が自分に時間を使ってくれているので、それに応えられるように頑張る
- 自分自身を大事にすること。ストレスは必ずあるものだから、無理なくマイペースにいくこと
- お客さん商売なのでお客さんがいないとやっていけないため、自分都合にならない
- いつの時代もどんな職業でも、謙虚な姿勢で、勉強し続けること
- 真面目に根気強くコツコツと将来の目標を無理なく目指していくこと
- 利益も大事であるが、従業員が働きやすい、続けたいような会社作りをすること
- 使命や意義を持つこと。個人事業主は簡単に辞められないため、その仕事を続ける意味を持つこと
- 中長期的に安定した仕事ができるように、今ばかりを見ずに先の事も考える
- 確かな技術と誠意をもってお客様に接し、自身は目標をもって鍛え、支えてくれる方々への感謝をし続ける
- 個人の仕事でも喜んでもらえるファン客がいる限り、役に立つことが喜びになる
- 利益をどれだけ出し続けていけるかが、とても重要なこと
- 目的、目標のために行動し続ける事ができれば、なんとかなる
- 人の役にたってなんぼなので、まずは役に立つ仕事をする
- 良い時も悪い時も、全て自己責任になるため、社会に対してどの様に貢献していくかの信念が必要
- 断固たる決意をもち、柔軟に時代のニーズに変化できる気持ちが大切
- お客様に喜んで長く来て頂くこと。怠慢にならずに成長を意識する
- 上手くいかない事があっても、失敗と改善を繰り返して行動していくこと
- 自分を大切にしていく。自分が満たされてお客様との信頼関係をつくっていく
- 自身のやりたいことが出来ているかどうか。続けることで成長出来るかどうか
- 割があった収入であるかどうか。充実した生活ができるかどうか
- 提供するサービスに誇りを持つこと、自分は天職だと思い切ること。かつ、お金は手段であること
- 健康第一とししっかりとした志、柔軟な考え方も必要
- 自分の仕事に常に責任をもつこと。自分の意識ひとつで収入がなくなる危機感をもつこと
- 自らのあり方が、大切。利他の心、感謝、和合、潔白、美しく生きる
- 自分がどう生きたいか、どう動くべきか考えて自分を律すること
- いかに新しい技術や、世の中の流れに乗って、日々新しい情報をとりいれるか

- ブレない信念と素直な心と行動力、地味なことをやり続けること
- 自分が満足できる自分を予め決めておくこと。そこに向かって必要なことをする
- 長く仕事を続けていく上の個人の売り上げや結果を出さないと難しい
- 目の前にいる相手に対して怠慢にならず、今を大切に接するよう努める
- 自分のやりたい事とお客様に喜んでもらえる所をすり合わせ、続けていく
- 自分の仕事が誰の役に立っているのか、それで役にたった見返りが売上
- 常に物事を球体で捉え、様々な角度から見る。自分の見え方が全てとは考えないこと

飲食業

- 固執した考えをするのではなく、常にいろんな情報を取り込んで最先端を学び続ける
- 信頼と誠実さ。常に顧客との信頼関係を大切にし、誠実なサービスを提供すること
- 責任を伴う事が多くなるので、日頃からポリシーを持って行動する

小売業

- 個人事業は売上が所得に繋がってくるため、常に売上増のために今何をすべきなのかを考える
- 従業員が働きやすく楽しい会社、長く働いてくれるように賃金の金額
- 個人事業主でも法人でも、世の中から求められてこと、応援されることをやり続けること
- 利益を第一としない。お客さんがサービスに満足すれば利益は必ずついてくる
- あきらめずに継続すること。 そのためには休みなしでも働く覚悟が必要
- 今いるお店が好きだから、今のお店ではたらいっている為、環境が大事
- 常に新しいことにトライする。時代は変化しているため、同じ事をしているだけでは生き残れない
- 自分が考えた価値観や信念を他人にも共有し、それを会社の理念として成り立つように育てる
- 立ち止まらずやり続けること。孤独になりやすいため、相談できる相手がいたらベスト
- 不安に押しつぶされないこと。孤独に強くなること。野心や理想を持つこと
- 健康で自分を信じること、お客様から認知され仕事を獲得すること
- 自分が好きな仕事か、嫌でも給料や条件の仕事をとるか。私は好きな仕事でないと続かない
- 自分はなぜ独立したかったのか、何をお客様に提供したかったのか。一番基礎の部分のを忘れないこと
- 長く続けることが目的ではないが、仕事が上手く回れば結果長く続く

建設業

- 個人事業主は自由きままな仕事です。束縛もされず、自分のペースで仕事ができる
- 仕事があってこそ続けられるため、自己主張はあまりしないよう、助け合いを大切にする
- 自分の仕事に使命感を持って取り組めるかどうかが大事
- 自分にはこの仕事が合っていたため、ここまで続いているだけ
- 出来る限り下請け企業にならないように、自ら営業して顧客を勝ち取るようにしていき、元請けに対しても対等でいられるメンタルに常にしておく
- 必要とされるのであれば答えるべき。必要されなくなったら終わり
- 自分に合っている仕事をするのが大前提。あと必ず利益が出ると確認する
- コミュニケーション、人付き合いはかなり大事
- お客様のご要望にお応えし、信頼関係を大事に繋がっていく
- わからないことはすぐに人に聞くとという姿勢が大事。そういう意味ではプライドはいらない
- 仕事に対する責任感とお客様を大事に思いつくること
- 健康が最も大切で、自分のやりたい仕事、やりがいのある仕事を行うこと
- 多少高くても、相手の求めて来た事以上のクオリティで渡すこと
- 顧客や取引先との信頼関係を築くために、誠実さや正直さが不可欠
- 仲間を大切にし、してもらう為に信頼関係を常に大事にする
- 仕事の目的、目標をしっかり持っていること。収入以外に自分のしていることに価値を見出すこと

運送業

- 顧客や取引先との関係性を良くしていくことが重要
- 全て自己責任でやる。文句は言わずに努力あるのみでやれば、上手くいく
- 自分の思い通りに仕事が動かせ、サラリーマンより収入を上げること
- 自らの自己研鑽と事業拡大に対するモチベーションを維持続けること
- 責任感、人間関係の構築、仕事の正確さが最も重要
- 情報やコミュニティを広げて仕事量を増やしていくことが大事
- 第一に体調管理に気を付けて、休日以外は休まないようにすること
- 顧客との歩幅合わせが必要
- 配送業は数で収入が決まるため、一軒でも多く配達する
- 全ての事が自分始動のため、自分で食欲に努力し続けること
- 何があってもお金のためだと思うこと。信念など重く考えないことが長く続く秘訣
- 周りからの信用を得なければ、仕事は与えられない。個人事業主は信用第一
- 判断力と行動力。あと仕事に関しての粘り強さはかなり大事
- 自分次第で売上が変わっていくので、更なる高みをめざして常に動いていくこと
- きちんとした収支計画をたてて、生活に必要な計算をしたうえで業務を行うこと

不動産業

- 人とコミュニケーションをとり、人間関係を構築していくことが、一番大切
- 好きか得意なことであることが大切。問題に直面してもほとんどの答えは過去の成功者が出しているため情報収集と自分にあう対策を見つけ訓練すること
- 時代の変化を読み取り経営を安定させること。自分自身の指針を持ち、様々な事を見極める知識を養う努力をすること

WEBサービス業

- 無理をしすぎず、自分のやりたい、続けたいと思ったことのみ広げていくことが大事
- 顧客、社会に対して価値提供ができていて、良いサービスを提供し続けること
- 自分の働き方を貫くためにクライアントの信頼をどのように得るかを考える
- 自分が商品のため、高い専門性の知識やコミュニケーション能力が重要
- 求められた仕事はしっかりこなし、コミュニケーションも欠かさず、コネクションも大事にすること
- 雇用主からの信頼を得ること。それが知識、技術、コミュニケーション力なのかは人によって違うと
- 思うが、雇用主が求める能力を提供し続けることが重要
- 何年目であっても、お客様からしたらプロフェッショナルになる。信用して取引してくださっている
- ので、1つ1つ責任をもって作業に当たることが重要
- やりたい仕事かどうか。稼げる仕事かどうか。続いていきたい仕事かどうか
- 健康状態が一番大事だと思っていて、いつも健康状態に気を付けている
- 寛容な気持ちを持つこと。誰でも個人事業主になると不条理な経験を何回かはすると思うが、それに自分の中で「まあいいか」くらいに考えながらゆるくやっていくことが良いと思う
- メンタル、コミュニケーション、信頼してもらえる関係性をいくつ作れるか
- ライフワークバランス一択。日本は今も「サラリーマン、OLが当たり前」といった考え方を
- お持ちの方もいますが、人生の「何」に時間を費やすのか、自由に調整できることは強み
- 一つの依頼を基盤として生活ができるか？自分に見合った仕事ができているか？が重要
- 今取り組んでいる業界にこだわらず、世の中の流行をよく読んで様々な仕事に可能性を探っていくことが、どの業種においても必要

医療業・福祉業

- 専門分野を極めて仕事相手にメリットを与えこと。この人に任せて良かったと思ってもらうこと
- 仕事とプライベートの見分けをはっきりつけること。無駄な仕事はしない

- 仕事は生きる為の手段にすぎないが、その仕事为天職であるなら素晴らしい成果が出るし、楽しいので辞めることはないと思う。その人が持って生まれた天才を活かせない仕事ならさっさと辞めて、それを活かせる仕事に就けばいいが、辛いからと逃げたり惰性でやるならどんな仕事も続かないと思う
- 人間関係が良好ですと離職率が下がるので、人間関係の良い職場はお互いにとってメリットが多い
- 成長と先見性、コミュニケーション。社会は常に変動する。この変化を先に読み、順応すること
- 何のために働いているのか自問自答しながら社会貢献すること
- 人間関係に重きをおいて、気を配りながら仕事をしていきたい
- 主体的に責任を取れる自立性と自分をコントロールできる自律性
- 接骨院をやってますが、決して儲かる仕事ではない。しかし患者さんと接しながらする仕事のため常に手を抜かず誠実に仕事に取り組むよう意識している
- 常に技術の勉強をし、お客様に満足していただける技術を提供し、自分自身の価値を高めることによって収益を高める

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 経営に対しては効率化をすすめ、より一層お客様から信用信頼頂ける仕事を継続すること
- 何度も挑戦するチャレンジ精神がいかに続くかで見えないものが見えてくる
- 強欲にならないこと。強欲になると信頼を失い、属性のよくない人ばかり集まってくる
- お客さまの要望に対して、法律の範囲内でどの程度納得した仕事ができるかどうか

個人投資家

- いいビジネスパートナーに恵まれること。仕事は真摯さが大事
- 時代の変化に適応すること。以前まで成功していたやり方だけに固執すると変化についていけない
- まずは、しっかりと稼ぐ。どの仕事でもそうだが、ある程度の目標や計画を立て実行する
- 計画にはリスク管理も踏まえ、最悪の場合にどうするかを考えておく
- 最も重要だと考える価値観や信念は欲張らないこと
- 自分が主体的に今の生き方を選んだのだという信念が重要
- 自分のやっていることを、自分で認めて満足し、人の意見に凹まないこと

その他

- サービス業
 - ・ クライアントの利益と、自分の利益・リソースのバランスに納得できるか否か
 - ・ 人の気持ちを考えつつ、自分の考えは曲げないこと。ぶれない信念
- 翻訳
 - ・ 常に向上心を持って良くしていこうとか、自分の技術や能力を上げようとする
- 保険業
 - ・ お客様にとっての利益を考えること。自身の利益ばかりを考えると商品提案も含めてまわらない
 - ・ 常に情報、世界情勢などにアンテナをはり、仕事の先取りをして、お客様にお伝えして仕事に繋げる
 - ・ どれだけ、お客様のために動けるかが大切
- 保険外交員
 - ・ 自分だけ儲けようとするとうまくいかない。まずは相手に儲けてもらう、メリットを享受してもらうことが大事
- アスリート
 - ・ 自分の為ではなくスポーツを通して色々な人に勇気や感動を与える職業のため、お金も大事であるが、まずは1人でも多くの人に喜んでもらえるようなプレーをすることが一番
- 不動産賃貸業
 - ・ 事業の継続性と財務基盤を安定させる努力と才覚が重要
 - ・ 心身の自己管理と継続的な営業活動を行うこと
- 教育業
 - ・ 周りの意見を取り入れようとする姿勢も大切であるが、自分のポリシーがぶれてしまうと事業が成り立たなくなる危険性もあるため、バランス感覚が一番重要
- 映像企画制作
 - ・ その仕事が好きで楽しいということ。客観的に見ると大変なことを、大変と思ってないこと
- 空調設備
 - ・ 儲かるどうかと、その仕事が自分に向いているかどうか肝心なこと
- トラベルテック
 - ・ 自分のできる範囲や許容範囲を超えず、無理をせず楽しいと思うことをやり続けること
- 保険代理業
 - ・ 時間とお金にルーズにならず、お客様に早く正確に提案できること
- 保険募集人
 - ・ 自分自身の報酬は自分で決めるものという考え方で継続してきた
- セラピスト
 - ・ 自分の使命を生きること。それが全ての土台となっていると信じている
- 電気保安全管理
 - ・ 信頼出来る仲間が多くいることが重要
- 電気工事業
 - ・ 個人差は有るが少しずつでも長く仕事を続けてる方がスキルの向上に繋がる
- 情報通信業
 - ・ 常に変化を受け入れ、成長し続けること。誠実さが信頼を生み、ビジネスを育むこと
 - ・ 長期的視野を持ち、持続可能な成長を目指すこと。また、継続的な学習をし続けることが、情熱の源泉となること
- 教育サービス業
 - ・ 自己実現の想いと行動が強いことが重要。そのうえで人の役に立つことが重要
- IT
 - ・ 個人事業主としてはまだ短いが、納期や約束事を守ること、そして、無理なことはしないこと
- IT・情報通信
 - ・ まず健康に気を付けること。自分に望まれていること以上のパフォーマンスを見せること
- 外部講師
 - ・ やり続けるという信念と、学ぶ気持ちが大切だと思う。あとは野心
- アパート経営
 - ・ 取引先との信頼関係は非常に重要。常に誠実に行動し、約束を守ること。また困難な時期も諦めずに努力し続けること
- アニメーション監督
 - ・ 自分が何に重きを置いて仕事しているかを早く理解する事が大事
- 金融業
 - ・ 自分のペースでできることをこなしていくこと。ある程度の目標を定めてそれに向かっていくこと
- 製造業
 - ・ 先を見通す先見の明と仕事のアップダウンを上手に乗り切ること

学歴/職歴が原因で受けたネガティブな体験

ー過去に学歴や職歴(経歴)が原因で「嫌だ、不快だ、不便だ」と感じたことを教えてください。

美容業

- 自分の学校のことを他人に悪く言われたこと
- 理容業から美容業に変わり、一から美容業を学んだため、時間的なロスや、同期がずいぶん年下だったため、大変に感じた

飲食業

- 大卒の人と比べると初任給が違うこと、求人も大卒以上と学歴に条件があること
- 学歴の偏見
- 収入面

小売業

- 業界上、出身大学の話になると困ることがある
- 会社勤めの時は高学歴の人との差を感じた
- 企業の採用の際に学歴が低いことについて言われたことがある
- 大手企業だと学歴が必要だと感じ、自分の学歴では不便だと思った
- 仕事を学歴で判断されたこと

建設業

- 学歴ないと大きな会社に就職出来ない
- 過度な学歴や職歴の重視によって、個人の能力やポテンシャルが見過ごされることがある
- 大企業に就職出来なかったこと

運送業

- 学歴によって給料の差があったこと
- 自分で選んだ道だから嫌だと思わない。何か環境を変えるきっかけに若い頃に早く気づいたり、運命を変える人と出会えたら、不便だと感じる事が少ないかもしれない

不動産業

- 業界に入ったばかりの時は、職歴が浅いことで交渉力や判断力が脆弱で苦勞した
- 長く同じ会社にいることの方が評価されたこと

WEBサービス業

- 転職するときに大卒が条件の会社が多かった
- 大学院博士課程に進んだ時点で、新卒としての募集はなく、中途扱いになってしまい、社会経験がないのにも関わらず、入社時の研修が受けられなかったこと
- 同じ仕事をしていても学歴で給料が安いことが非常に不快に感じた
- 新卒の頃は入社したい会社であっても「大卒以上」といった条件があり諦めたこと
- 正社員になる際に一番見られたのは学歴だったこと
- 職歴の空白期間について面接で執拗に尋ねられたこと

医療業・福祉業

- 出身大学が院長と違う大学だという理由だけで、院長からの当たりが強い方がいたこと

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- サラリーマン時代に学歴で入社試験を受けることが出来なかった
- 銀行は学歴社会のため行員は客を見ずに、上司にばかりに目を向けること

個人投資家

- 自分の時代は下手に学歴があると、だから女はダメなんだという男性は沢山いた
- 仕事の応募で門前払いを受けたこと
- 自分の学歴と関係ない職種への応募がやりにくい

その他

- サービス業
 - ・転職が多いことで「何がしたいんですか」と聞かれたこと
 - ・アルバイトをした時に、音楽大学出身だと、勉強ができないと思われたこと
- 翻訳
 - ・新卒面接の際に学校レベルごとにわけられていたこと
- 保険業
 - ・学歴で派閥に入れないと出世ができない
- 保険外交員
 - ・大手企業勤めの際、学歴や出身によって派閥があり不快だった
- 便利屋
 - ・専門学校卒ということで、周りは有名大学卒の方も多く、比較されることがあった
- 保険代理業
 - ・求人情報誌に「大卒のみ」と書いてあるとき
- セラピスト
 - ・エステサロンで働いていた時、当時はまだエステのイメージが悪く、まるで学校を出ていないかのような扱いを受けたこと
- 電気保安全管理
 - ・ただ学歴がいいというだけで、新卒の人間が自分より給料高いと知った時に不快に感じた

学歴社会に思うこと

ーいまだ根強い日本の学歴社会に対して、個人事業主としての意見を遠慮なくお願いします。

美容業

- 学歴がある人よりも稼いだり自由に生きたり自分らしく生きれば良いと思う
- 学歴が全てではないが、その学校に入る為に努力したのも確かの為、それを評価するのは良いと思う
- 人間性は学歴では見れないと思う
- 会社だと高学歴の方が優秀だが、技術職だとほんとに関係ないと思う
- 今の時代、SNSやインターネットなどを活用して『マネタイズ』する事は可能なので、高学歴に固執する必要はないと思う
- 仕事をする上で必要なのはどれぐらいの偏差値の高校に行ったかどうかだと思う為、大卒だから優秀だろうという時代は終わると思う
- 学歴にこだわる人は好きにすればいい。ただ、現状すでに「ただの学歴」と「能力のある学歴」とで、差が出てきているため、「学歴」そのものの価値が変わってきている
- 若い時の苦勞は買ってでもせよという言葉通りだと思う。若いうちに努力をするか、歳を取って苦勞するかのどちらかだと思う
- なかなか学歴社会はなくならないと思うが、学歴よりも仕事ができる人が伸びて行く社会にしたい
- 勉強、学歴はある程度の努力の証でもあるので評価の点数は付けやすい。ただ、学歴以外にも興味のある分野での勉強も仕事に活かすこともできる
- 全く関係ないとは言いませんが、学歴よりも内面や人間性を見て採用した方が良い
- 自分のしたいことをやっていくことが大事だと思う
- 学歴関係なく頑張っている人をしっかりと評価出来る社会にならないといけないと思う
- 学歴は仕事を始める入りだけ重要になるケースも多いと思うため、学生のうちから色々な職業を経験出来る仕組みがあるといいと思う
- 学歴は無いよりはあったほうが選択が広がって断然良いと思う
- 独立するのであれば少しの度胸と地味な事をやり続けること(結果は個人差ある)

飲食業

- 学歴があっても稼げない人も多いし、逆も多いから関係ないと思う
- 学歴よりも実力や経験を評価すべき。個人の能力と成果を重視すべき
- 学歴が良くても仕事が出来ない人がいるのは事実

小売業

- 学歴があるからないから悪いのではなく、今の自分に必要な経歴かが重要
- 若いうちに勉強しといて損は無い
- 個人事業主になってしまえば学歴は関係ない
- 学歴はその人の成長過程を簡単にまとめたものと思うので、根強いのは仕方がないが、そこで何を学ぶことができたか、が学歴よりも大事
- 学歴じゃなく実力社会になれば良い
- ある程度の教養は高校卒業で身に付いている。そこからは自分次第だと思う
- 日本に数ある企業に勤める際に、有望な学歴があれば評価されるのは必然ですが、その会社の成長は学歴ではなく本人のやる気次第と考えている。実際に個人で開業してる方々の生産性(利益)の上がる実力は高いと思うため、学歴関係なく雇うことで視点が変わると考える
- 学歴が高いことは確かに多くの職業で有利に働くことが多いが、個人事業主や起業家にとっては、実際のスキルや実績、柔軟な思考能力、そして何よりも自分の事業に対する情熱やビジョンが最も重要な要素になる
- 一種の判断材料として学歴を見るのは良いことだが、大企業＝学歴主義という印象が強いので、採用方法をガラリと変えるなどして欲しい
- 学歴という個人の表面ではなく、もっと内面で判断してくれる企業が増えることを願う

建設業

- 古い考えを持った年配の役職人達が引退しないと変わらない
- 教科書や参考書上だけの学歴ならいらないと思う。生活する上での知識や人付き合いなどが出来る方が社会で生きていく上で大事
- 社会人として必要なのは学歴よりも個人の人間力だと思う。素直さや謙虚さが成功には不可欠
- この業界は学歴が関係無い実力社会だが、職人としてやりたいなら最低限の学力は必要
- 経験値で賄える
- 学歴や出身大学にこだわる風潮が、個人の能力や実績を見誤る原因となる
- 昔ほど学歴社会ではないと思う
- 学歴がすべてでは無いとは思えないため、学歴を活かして生きていける道が増えればよいと思う
- 大手企業で仕事したいならば頑張ればいいが、社会のルールに順応する方が世の中を生きていける
- 変化はそう簡単にできることではないため、時代の流れでより良い社会にかわっていくこと、誰でも働きやすい環境が得られると良い

運送業

- 学歴は評価されるべき
- 学歴は大切であるが、最初だけ。実力が伴ってこそ
- 学歴よりも頭の回転や行動力の方を重視したい
- 組織の中に入って高収入や地位、名誉を求めるなら学力、学歴がないと登って行けないと思うが、そこそこの収入でストレスフリーで楽しい人生を送れば最高だという価値観でいれば、学歴社会なんて全く気にならない
- 今の社会は、学歴はそんな重要ではないと思う。コミュニケーション能力の高い人や問題提起や解決能力、発想力が豊かな人が社会において必要
- 高学歴はその人が努力できる人間かどうかを測る基準の一部になるとは思いますが、あくまで一部だとも思う。勉学がどうしても性に合わず、どうしてもそこでは努力できないが、スポーツや芸術で努力を惜しみなくできる人もいる。雇う側は、面接のやり方などを少し変えてみて、履歴書だけでは読み取れない部分を見るやり方を、模索していくべきだと思う
- 学歴よりも学生に自発的な考えや、早めに労働に触れさせることが重要だと思う

不動産業

- 学歴社会は、会社員になる際は評価基準として、ある程度の努力が継続できる、もしくは自頭が良い。という意味では正しいと思う。個人事業主の場合は、結果がすべてのためどちらでも良いと思う
- 学歴は一つのハードルとして、進学しないのであれば、それ相応のキャリアがより重要になる
最終学歴によってスタートラインにたてないことはマイナススタートになるため、業界の選択肢が狭くなる
- 賃貸業はあまり学歴の影響を受けないが、これからは自助努力の時代にはなると思う

WEBサービス業

- いくら頭がよくても社会を生き抜く上の知識が足りなければ意味がないため、学歴以上に生きる力、人とのコミュニケーション能力などを養ってほしい
- 学歴問わず、何かを継続して努力し続けられていたか、実績を出してきたか、の方が大切
- エンジニアの業種では、経験・実績が全てであり、学歴は実績がない人を判断する指標に過ぎない。
ただ、学歴はその人が頑張ってきた結果でもあり、学歴による区分などは多少あっても良いと思う
- 人を判断する指標として世の中で平等な学歴が一つの指標となることは仕方がないと思う
- 学歴もそうだが、通算歴や序列、残業するほど偉いみたいな現場がいまだに多いことに驚く。個人それぞれの日常の働き方・成果などしっかり評価してほしい
- まだまだ日本は学歴社会が残っているため、就職を考えるなら高学歴の方が選択肢は広がる
- 学生時代をどうして過ごしてきたのか、将来希望する職業に直結するような資格、知識を身に付けてきたのが非常に重要だと考える。高卒の方でも大卒の方よりも優れている人も存在し、それを判ってもなお学歴社会が続く日本に理解できない
- 学歴は人を判断する材料であって、人格には関係ない。学歴がなくてもスキルがある人はたくさんおり、それなりの努力をしてそこに立っている人がいる。本質を見ることに注力して欲しい

医療業・福祉業

- 高学歴だけど人として尊敬できない人間、学歴や職歴がエリートっぽければ自分はすごいんだぞというような人、何人も見て来た。低学歴でも立派な人間も何人も見てきた。学歴、職歴を軽視するわけではないが、人となりを見る際の基準にするのはやめよう、成長がない、吟味されていないと思う
- 社会に出てから他に比べて少しでも有利になろうという目的のための小さい学歴偏重主義は人の可能性を伸ばさず、高尚な目的、目標から人の目を背けるのではないかなと思う
- 学業に励むことは悪くないけど、学んでいる内容、これから学ぶことを社会として吟味していくことも大切ではないかな？と思う
- 東大卒だろうが、仕事ができない人は出来ない。なので、そんな社会は変えた方が良いと思う
- 個人事業主に学歴は関係ない
- 単純に時代遅れになっていると思う。個人の能力や資質が必ずしも学歴＝能力とは限らないと思う
- 学歴だけでその人を判断するだけではなく、考察力、行動力、コミュニケーション能力等、色々なものが合わさってこそそのその人の魅力だと思う
- 学歴はなくても賢い人は沢山いるし、逆に高学歴でも常識のない人間は沢山いる。一般の大手企業に就職するのなら高学歴が良いのかもしれないが、これからは専門の分野に特化した知識や技術を学んだ人が生き残っていける時代になっていくと思う
- 稼げたものが実力だから関係ない

専門家(士業・FP・コンサルなど)

- 学歴は必要だと思う
- 人物の本質が分かるのは学歴が一番ではないため、性格、人柄にもっと目を向ける事が大事
- ある種の職種には学歴フィルターが機能すると思う。また、学歴による価値観や行動様式の類似性はあるので、組織を作るうえでは学歴重視もやむを得ない

個人投資家

- 自分の世代の考え方は終身雇用前提で、いい会社に入るためにいい大学に入るという考えが一般論だったように思う。その世代がまだまだいるために学歴にこだわるが、これは男性にイえること。仕事するうえで学歴より男女差別の方がかなり根深い時代だったと思う
- 学歴で評価するのは良いと思う。しかし、学校で学ぶ内容が新しい働き方に適応していないため、そこが変わってほしい
- 学歴は気にしなくていいと思うが学生はその為に勉強しているのでしばらく変わらないと思う
- 大切なのは今の社会状況を踏まえたうえでその中でどうすれば自分の理想とする人生を送れるのかを考えていくことだと感じている
- 個人で仕事をする分には学歴はほぼ関係ない

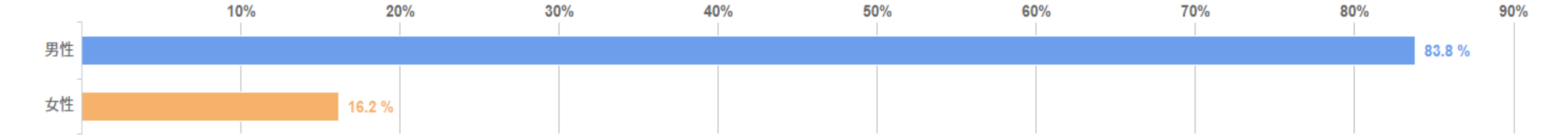
その他

- サービス業
 - ・学歴が高いからといって仕事ができるわけでもなく、学歴がないからといって仕事ができないわけでもない。相手がどういう仕事の仕方をして、クオリティはどうか、という目の前の現状を冷静に見ることができない人があまりにも多いと思う。とはいえ、これまで仕事をしてきて学歴が低い人は理解力や効率化などに弱い傾向があるのも感じる
 - ・学歴がない人で、すごい人をあまりみた方がないが、学歴があっても全然ダメな人もよくみるため、なんとも言えない
- 翻訳
 - ・学歴よりも結果で報酬が決められるようにすべき
- 保険業
 - ・学歴によるフィルターは必要だと思いますが、能力評価をもっと考慮すべきと思う
 - ・高学歴であっても会社への即戦力になるとは限らない
 - ・学歴も大切ですが、どれだけ自分で段取りして仕事できるか
 - ・学歴は高いに越したことはないが、仕事のスキルに直結していないと思う
- システムエンジニア
 - ・中途半端な学歴はあまり意味がない
- アスリート
 - ・私達の世界では高卒でプロの子や大学を途中でやめてプロになる子もいます。私達の世界では実力がすべてなので、自分の力を最大限に発揮しやすい場所になっている。しかし、社会に出た時に目上の方に対する対応やお客様に対する対応に関しては、やはり学歴は多少なりとも必要になってくると思う。私のチームにも10代の子から20代前半の子がたくさんいるが、全くと言っていいほど礼儀がなっていない。それは現在の教育方針にも問題があると思い、ある程度の厳しさは必要で、若者の意見が全て正当化される今の体制は良くないと思うため、今の若い人達を私が面接するのであれば学歴はしっかりみると思う
- 保険外交員
 - ・はっきり言って意味がないが、多くの応募者がいる際、学歴を見ってしまうのも事実。平等である勉学に対してどれほど取り組んだかの指標になるし、それが仕事に繋がる可能性も否定できない
- 便利屋
 - ・柔軟な思想で、形に捕らわれず、自分の意思をしっかりと持って夢に向かって進む原動力をもっている方が強いと思う。さらに向上心を持って自分にも他者にも優しく、共生できる感謝の気持ちを持った個人事業主になる所存。学歴は関係ないと思う
- 不動産賃貸業
 - ・学歴はわかりやすいが、職歴や仕事ぶりは初見ではわからない
- 教育業
 - ・学歴はブランドの一つで、受験したり努力したことを証明する一つの方法ではあると思う。学歴は関係ないという人が、信念を持って高学歴を避けたというケースよりも、勉強不足や資金不足で諦めた人が批判しているケースも多いと思う。仕事で実績を積んだということがアピールになるならば、学歴がアピールになることも自然なことだと思う。ただ、学歴がないから下に見る、というのは、その点だけを見て判断できることではないと感じる。あくまでも、学歴も一つの判断材料として、総合的に判断することは何ら批判されることではないと思う
- 映像企画制作
 - ・その学校に入りたかった理由、そしてそこを目指すために必要なことを調べ、計画、実行、目的を達成する能力、そしてそこで学んだことを活かし、次へのステップへ繋げる能力を判断するための一つの指標になると思う
- 空調設備
 - ・成功すれば学歴など全く関係ない、興味さえあれば学歴が無くても独学で勉強して成功出来る
- トラベルテック
 - ・面接時に履歴書を見る時に専攻学科は見ても学歴は見ない。仕事をする上で最終的には人間力、実力主義だと思う
- 保険代理業
 - ・学歴も大事だが、人間力の方が役に立つ
- セラピスト
 - ・現在、私は学歴を重んじる環境になく、生き方、考え方の方が重要と思う
- 電気保安管理
 - ・学歴は一つの目安にはなるが、仕事が出来るとかはその人間次第なので、もっと能力給のような感じになると良い
- 電気工事業
 - ・ある程度の学歴は必要だと思うが、一番必要なのは会社に入った後の個人の努力
- 情報通信業
 - ・学歴にとらわれない働き方がある。学歴よりも個人のスキルや実績を重視する価値観に縁を持つか、学歴で判断される価値観に縁を持つか、”日本の学歴社会が”の話ではなくてただ人それぞれの選択があるだけなのだと思う
- 教育サービス業
 - ・学歴社会は一定の成果が経歴でわかる、安心材料である。なので学歴社会は入口としては良いと思う。ただ仕事の成果は学歴つまり過去の成功は関係ない、そう評価される組織が残り、必要とされる
- IT
 - ・学歴ではなく、何を学んできたかを重視するようになれば良い
- IT・情報通信
 - ・グローバル化に対して未だ学歴を重視してはいるその業界、会社はダメになっていくと思う
- 外部講師
 - ・学歴ではなく人間性をみて判断してほしい
- アパート経営
 - ・自身の実績やスキル、個々の能力や個性を積極的にアピールし、学歴よりも成果や能力が評価されるよう努力する
- 金融業
 - ・個人事業主はまさに個人です仕事なのだから、自分たちの行動に責任を持ってすれば良いだけで、学歴等は気にしないで良い

- ・世界中でも学歴は重要視されていて仕方がないと思うが、それを超えて行こうとする個人の意志に尽きると思う

本調査の回答者属性

▼性別



▼年齢

